

松山市男女共同参画事業実施計画 令和5年度 実績報告(詳細版)

令和7年1月

市民部 人権・共生社会推進課

<目次>

通番	事業名	担当課	分類
1	市民に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	男女共同参画推進センター	主要課題1 男女の人権の尊重
2(19,32)	女性のための相談	男女共同参画推進センター	
3(20,33)	男性のための相談	男女共同参画推進センター	
4	DV等に関する相談の実施	男女共同参画推進センター・子育て支援課	
5(124)	SNS子ども子育て相談窓口事業	こども相談課・子育て支援課	
6	市職員に対するDV(ドメスティック・バイオレンス)等に関する啓発	人事課・職員厚生課	
7	若年層に対するデートDV等に関する啓発	人権・共生社会推進課	
8	DV等に関する学習会の実施	男女共同参画推進センター	
9	DV等に対応する相談員の資質の向上	子育て支援課	
10	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用	子育て支援課	
11	DV被害者支援庁内連絡会議の運営	子育て支援課	
12	地域におけるDV等被害者の早期発見	市民防災安全課	
13	関係機関との連携	子育て支援課	
14(112)	子育て短期支援事業	子育て支援課	
15	えひめ性暴力被害者支援センターなど相談機関の周知・啓発	市民生活課	
16(27)	保護者等を対象とした講演会等	すくすく支援課	
17	教職員研修事業(性教育)	教育研修センター事務所	
18(30)	保護者等を対象とした講演会等	保健体育課	
19(2,32)	女性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
20(3,33)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
21(26,49)	地域包括支援センター運営事業	長寿福祉課	
22(50)	高齢者いきいきチャレンジ事業	長寿福祉課	
23	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理	健康づくり推進課	
24	松山市食育推進計画の進捗管理	健康づくり推進課	
25	各種健康診査の実施	健康づくり推進課・保険給付・年金課・すくすく支援課	
26(21,49)	地域包括支援センター運営事業【再掲】	長寿福祉課	
27(16)	保護者等を対象とした講演会等【再掲】	健康づくり推進課	
28	エイズ等特定感染症対策事業	保健予防課	
29	保護者等を対象とした講演会等	保健予防課	
30(18)	保護者等を対象とした講演会等【再掲】	保健体育課	
31(98)	自殺予防対策	保健予防課	
32(2,19)	女性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
33(3,20)	男性のための相談【再掲】	男女共同参画推進センター	
34(36)	ネットトラブルから子どもを守る取り組み	市民防災安全課	
35	男女共同参画の視点からの公的広報の実施	人権・共生社会推進課	
36(34)	ネットトラブルから子どもを守る取り組み【再掲】	市民防災安全課	
37	インターネットに関する相談機関の案内	市民生活課	
38(82)	企業内人権教育担当者研修講座	人権・共生社会推進課	主要課題2 社会制度・慣行の見直し
39	人権啓発推進員の養成	人権・共生社会推進課	
40	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
41	男女共同参画に関する情報の収集及び提供	男女共同参画推進センター	
42	男女共同参画に関する各種実態調査	男女共同参画推進センター	
43(144)	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座	男女共同参画推進センター	
44	介護予防と認知症サポーターの養成	長寿福祉課	
45	ファミリー・サポート・センター(介護)	長寿福祉課	
46	障がい者総合相談窓口事業	障がい福祉課	
47	外国人に対する生活サポートボランティア	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
48	在宅医療・介護連携推進事業	長寿福祉課	
49(21,26)	地域包括支援センター運営事業【再掲】	長寿福祉課	
50(22)	高齢者いきいきチャレンジ事業【再掲】	長寿福祉課	
51	障がい児相談窓口事業	障がい福祉課	
52	障がい者相談支援事業	障がい福祉課	
53	精神保健福祉事業	保健予防課	
54	若者の正社員化及び就労訓練	ふるさと納税・経営支援課	
55	市民からの各種相談への対応	市民生活課	
56	生活困窮者自立支援事業	生活福祉総務課	
57	生活保護支給事業	生活福祉総務課	
58	松山市子ども健全育成事業	子育て支援課	
59	平和への取り組み	市民生活課	
60	国際性豊かな人づくり	観光・国際交流課(公益財団法人松山国際交流協会)	
61(142)	教職員研修事業(性の多様性)	教育研修センター事務所	
62	女性登用率の向上促進	人権・共生社会推進課	
63	市女性職員の職域拡大および管理職の登用促進	人事課	
64	インターンシップ及び市役所業務説明会等の実施	人事課	
65	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画の推進	人事課	

通番	事業名	担当課	分類
66	男女共同参画に関する研修制度の充実	人事課	主要課題3 方針決定過程への 女性の参画拡大
67(131)	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業	市民防災安全課	
68	女性の活躍推進(ジョカツ)	男女共同参画推進センター	
69	人材育成に関する講座	男女共同参画推進センター	
70(129)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)	地域消防推進課	
71(132)	防災ひとつくり地域創生事業	市民防災安全課	
72(154)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供	男女共同参画推進センター	
73	地域における男女共同参画の意識啓発	男女共同参画推進センター	
74	まつやま農業者セミナー	農業委員会事務局	
75	地域のまちづくりへの女性参画促進	まちづくり推進課	
76	市民活動団体等に対する支援・連携促進	まちづくり推進課	
77	情報収集、環境整備等の実施	議会事務局	
78(97,102)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座	男女共同参画推進センター	主要課題4 仕事と生活の調和
79(85)	「まどんな応援企業宣言」認証制度	男女共同参画推進センター	
80(86)	まどんな応援企業の周知啓発	男女共同参画推進センター	
81	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)	男女共同参画推進センター	
82(38)	企業内人権教育担当者研修講座【再掲】	人権・共生社会推進課	
83(101)	男女雇用機会均等法等の周知・啓発	ふるさと納税・経営支援課	
84	メンターの育成(庁内ワーキング・グループ)	人権・共生社会推進課	
85(79)	「まどんな応援企業宣言」認証制度【再掲】	男女共同参画推進センター	
86(80)	まどんな応援企業の周知啓発【再掲】	男女共同参画推進センター	
87	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)	男女共同参画推進センター	
88(100,155)	若者のライフデザイン支援事業	男女共同参画推進センター	
89	家族経営協定の推進	農業委員会事務局	
90	担い手総合支援事業	農林水産振興課	
91	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金	農林水産振興課(農業指導センター)	
92	松山市人材育成事業補助金事業	ふるさと納税・経営支援課	
93	女性の起業支援	ふるさと納税・経営支援課	
94	高齢者雇用対策事業	ふるさと納税・経営支援課	
95	女性の再就職支援	ふるさと納税・経営支援課	
96	松山市テレワーク在宅就労の促進	企業立地・産業創出課	
97(78,102)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター	
98(31)	自殺予防対策【再掲】	保健予防課	
99	市男性職員の育児休暇取得の促進	人事課	
100(88,155)	若者のライフデザイン支援事業【再掲】	男女共同参画推進センター	
101(83)	男女雇用機会均等法等の周知・啓発【再掲】	ふるさと納税・経営支援課	
102(78,97)	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】	男女共同参画推進センター	
103(149)	休日子どもカレッジ推進事業	こどもえがお課	
104	子育てひろば等支援事業	こどもえがお課	
105	児童クラブ運営事業	こどもえがお課	
106(127)	地域子育て支援拠点事業(直営型)	こども相談課	
107	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理	保育・幼稚園課	
108	小児救急医療確保事業	医事業課	
109	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】	子育て支援課	
110	子育て応援券交付事業	子育て支援課	
111	子育て家庭の送迎等支援	子育て支援課	
112(14)	子育て短期支援事業【再掲】	子育て支援課	
113	子育てに関する情報の発信	こどもえがお課	
114	子ども医療助成事業	子育て支援課	
115	児童館等管理運営事業	こどもえがお課	
116	児童手当支給事業	子育て支援課	
117	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業	すくすく支援課	
118	産後ケア事業	すくすく支援課	
119	多胎妊産婦等サポート事業(育児・家事援助サービス利用補助事業)	すくすく支援課	
120	ひとり親家庭等の就労支援	子育て支援課	
121	児童扶養手当支給事業	子育て支援課	
122	ひとり親家庭医療助成事業	子育て支援課	
123	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理	子育て支援課	
124(5)	SNS子ども子育て相談窓口事業【再掲】	子育て支援課・こども相談課	
125	子育て世代包括支援センター事業(すくすく・サポート)	すくすく支援課	
126	総合相談事業	こども相談課	
127(106)	地域子育て支援拠点事業(直営型)【再掲】	こども相談課	
128	松山のひととまちを守る！防災土養成事業	市民防災安全課	
129(70)	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】	地域消防推進課	
130	自主防災組織育成事業	市民防災安全課	
131(67)	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業【再掲】	市民防災安全課	

通番	事業名	担当課	分類
132(71)	防災ひとつくり地域創生事業【再掲】	市民防災安全課	主要課題5 地域防災分野での男女共同参画
133	対策本部運営事業	危機管理課	
134(139)	松山市地域防災計画の進捗管理	危機管理課	
135	防火指導事務	地域消防推進課	
136	みんなの消防フェスタ開催事業	地域消防推進課	
137	幼年少年消防クラブ育成事務	地域消防推進課	
138	災害用物資資機材整備事業	危機管理課	
139(134)	松山市地域防災計画の進捗管理【再掲】	危機管理課	
140	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発	人権・共生社会推進課	主要課題6 教育分野での男女共同参画
141	教職員研修事業(SDGs推進研修)	教育研修センター事務所	
142(61)	教職員研修事業(性の多様性)【再掲】	教育研修センター事務所	
143	松山の教育研究開発事業	教育研修センター事務所	
144(43)	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座【再掲】	男女共同参画推進センター	
145	地区人権教育の推進	人権・共生社会推進課	
146	人権教育研究会の開催	人権・共生社会推進課	
147	人権啓発フェスティバルの開催	人権・共生社会推進課	
148	キャリア教育の支援	男女共同参画推進センター	
149(103)	休日子どもカレッジ推進事業【再掲】	こどもえがお課	
150	学校・家庭・地域連携協力推進事業(放課後子ども教室運営事業)	地域学習振興課	
151	子どもから広がるいじめ0ミーティング	学校教育課	
152	元気活力支援事業	地域学習振興課	
153	男女共同参画に関する出張講座の開催	男女共同参画推進センター	
154(72)	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】	男女共同参画推進センター	
155(88,100)	若者のライフデザイン支援事業【再掲】	男女共同参画推進センター	

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～					通番	1
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶						
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実						
事業名	市民に対するDV等に関する啓発							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	市民に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について広く周知を行う。特に11/12～25「女性に対する暴力をなくす」運動期間には、シンボルカラーであるパープルのリボン運動等を実施する。							
数値目標	周知回数	R5	1 回以上	R6	1 回以上	R7	1 回以上	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	男女共同参画推進センター・コムズでは、「女性に対する暴力をなくす運動」期間に合わせて、1階ロビーにおいて、DVに関する各種情報を提供するとともに、パープルリボンを立体ツリーに飾ってもらう市民参加型の展示をすることで意識啓発を行った。 また、市から恵与されたポケットティッシュ（「DV相談ナビ」の周知カード入り）を大学生対象の「若者のライフデザイン支援事業」等にて配布したり、2階図書コーナーでは女性に対する暴力やセクハラ等について考えるきっかけとなる書籍のテーマ展示を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	当センターでは学習会の開催、図書の貸し出し、相談事業を行っている。今後は、各事業を連携させることで、男女を問わず、DV等の意識啓発がより効果的になるよう取り組んでいく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）	周知回数	1 回	100%
-------------------------	------	-----	------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～				通番	2(19,32)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	女性のための相談						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300 件	R6	1,300 件	R7	1,300 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	電話相談:873件、面接相談:112件、メール相談【新規開設】:19件 合計:1,004件 相談の内容は「情報・暮らし」が最も多く13.7%であり、次いで「人間関係の悩み」12.8%、「夫婦関係」12.3%であった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】令和5年4月に開設したメール相談件数は19件であり、継続した周知活動が必要である。引き続き松山市のLINEや当センターのSNSを活用した情報発信や、相談室リーフレットのリニューアルに取り組んでいく。 【成果】女性相談はコムズ職員が行っており、市や県の研修で一定の資質向上につなげることができた。一方、男性相談は専門家(シニア産業カウンセラー、交流分析士等の有資格者)が対応しており、相談員自身が日頃から研鑽に努められている。広報活動については、出張講座や催事出展の機会を通じてリーフレットを配布することで、一定数を確保することができた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	1004 件	77%
-------------------------	------	--------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番			3(20,33)	
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	男性のための相談						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80 件	R6	80 件	R7	80 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝39件、 男性面接相談＝23件 合計62件 相談内容で、最も多かったのは「情報・暮らし18件」(22.6%)、次いで「出生家族の悩み」(17.7%)、「仕事上の悩み19件」(12.9%)であった。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	対象が男性であるため、相談事業全体のカラーパンフレットに加え、男性相談単独のチラシを作成し配布している。 今後は、SNSを活用した情報発信にも取り組んでいく。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	相談件数	62 件	78%
-----------------------------	------	------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	DV等に関する相談の実施						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。						
数値目標	周知回数	R5	1 回以上	R6	1 回以上	R7	1 回以上

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	主催事業において当相談室のパンフレットを配布し、ホームページや各種SNSでも周知を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性からのDVに関する相談は18件あり、令和4年度(10件)比180%であった。 男性からのDVに関する相談は0件であった。 内閣府が令和5年度に実施した「男女間における暴力に関する調査」によると、男性の22.0%が「配偶者からの暴力被害を受けたことがある」と回答しているため、悩んでいる男性は潜在的にいと想定される。 男性相談のチラシにもDVに関する相談を受け付けていることを明記し広報活動に取り組んでいく。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	周知回数	19 回	1900%
-------------------------	------	------	-------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	4			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	DV等に関する相談の実施						
担当	子育て支援課						
事業概要	現在、DV被害の相談には、福祉・子育て相談窓口や松山市男女共同参画推進センター、子ども総合相談センターで相談を受け付けている。男女間の暴力に対応する際には、愛媛県や警察、配偶者暴力相談支援センター等関係機関と連携し、安全に配慮した迅速な対応及び支援を行う。						
数値目標	周知回数	R5	1 回以上	R6	1 回以上	R7	1 回以上

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	相談機関に関する情報を、チラシやパンフレット、ホームページへの掲載等で周知した。 令和3年11月から「子ども・子育て・DVらいん相談@まつやま」を開設し、相談体制の充実を図っている。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度 (%)	5点中 5点	100%
-----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	福祉・子育て相談窓口には、106件(うち男性からの相談4件)のDV相談が寄せられた。関係機関とも連携し、被害者への支援に対応することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度 (%)	周知回数	1 回	100%
--------------------------	------	-----	------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番			5(124)		
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶						
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実						
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業							
担当	こども相談課							
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。							
数値目標	相談受付件数		R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和5年度の実績は、子ども総合相談193件、ひとり親相談27件、DV相談36件の合計256件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。 また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	256 件	60%
-------------------------	--------	-------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	5(124)			
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業						
担当	子育て支援課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和5年度の実績は、子ども総合相談193件、ひとり親相談27件、DV相談36件の合計256件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。 また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	256 件	60%
-------------------------	--------	-------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV等に関する啓発			
担当	人事課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について、研修の実施や庁内報の作成・配付などを通して、広く周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	全庁に発信している「コンプライアンス通信」(人事課)で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を継続して周知するとともに、「コンプライアンス通信」(R5年6月号)及び「安全衛生だより」(R6年2月号)ではセクシュアルハラスメントの防止をテーマに取り上げ、周知啓発を行った。また、各種研修会で周知を行い、職員のハラスメント防止に関する意識の向上に努めた(R5年8月実施 人事労務管理研修、R6年1月実施 管理職員ハラスメント研修 R6年1月実施 部長・副部長ハラスメント研修)
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	セクシュアルハラスメントについて、全庁発信で広く継続周知することができた。また、管理職対象のハラスメント防止の研修を開催した。 今後も、セクシュアルハラスメント防止と健全な職場環境の確保のため、職員への周知啓発を継続する必要がある。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	6
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	市職員に対するDV等に関する啓発			
担当	職員厚生課			
事業概要	全市職員に対し、DV・セクシュアルハラスメント等について、研修の実施や庁内報の作成・配付などを通して、広く周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	毎月、全庁発信している「安全衛生だより」で、セクシュアルハラスメントの庁内相談窓口を毎月継続して周知するとともに、R5年4月号外とR6年2月号ではセクシュアルハラスメントの防止をテーマに周知啓発を行った。 また、各種研修会で周知を行い、職員のセクシュアルハラスメント等防止に関する意識の向上に努めた（R5年4月新採用職員研修、新採職員配属所属長研修、6月新任課長研修、7月採用2年目職員研修、8月管理職員研修、10月採用6年目職員研修）
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	セクシャルハラスメント防止と健全な職場環境の確保のため、定期的に相談窓口等の周知に努めることができた。 また、各種研修会で参加職員に具体的な内容を伝える機会を設けたことで、効果的な周知啓発が実施できた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	7
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	若年層に対するデートDV等に関する啓発			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	市内大学等と連携し、若年層に対するデートDV防止に向けた周知啓発活動を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	若者のライフデザイン支援事業（コムズ主催）を松山大学で実施した際に、参加した学生を対象に啓発カードを封入したティッシュを配布した。 また、コムズのロビーでも運動期間中に啓発ティッシュを配布した。 11月18～19日に開催の「まつやま産業まつり」でも、ティッシュの配布を予定していたが、イベント自体が開催見送りとなったため、実施せず。 配付実績は、延べ300個程度。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	安価な啓発手段として、啓発カードを封入したティッシュを作成し配布しているが、より効果的な啓発手段を検討する必要がある。 国が重点的に取り組んでいる若年者の性暴力被害について、大学生に直接周知できた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	8
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に関する学習会の実施			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	深刻な人権侵害であり、社会問題となっているDVの問題解決にむけた学習会を実施し支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	離婚に関する相談が増える傾向にあり、その背景にDVが潜んでいる可能性があることから、「女性に対する暴力をなくす運動」期間中の11月に学習会「知っておきたい離婚の法律あれこれ～法テラスってどんなところ？～」を開催し、女性20名、男性4名、合計24名の参加があった。 参加者アンケートで「大変よかった」「よかった」の合計が88%であり、感想として「手続きがいろいろ必要な事がよくわかったのでよかった」「準備していく道すじが見えた」等が寄せられ、好評を得た。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	全体に占める男性の参加割合は2割であり、男性の参加が今後さらに増えるよう、広報活動に積極的に取り組むとともに、男性もぜひ参加してみたいと思えるような魅力ある講師選定やテーマ設定、講話内容を検討していく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	9
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-1	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実		
事業名	DV等に対応する相談員の資質の向上			
担当	子育て支援課			
事業概要	相談内容に適した対応を迅速且つ的確に実施するため、本市において応対する女性相談支援員の専門知識と相談対応能力の向上に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「中国・四国地区婦人保護事業研究協議会」(オンライン開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「全国婦人相談員・心理判定員研究協議会」(青森県にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「婦人相談員等研修会」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者暴力相談支援センター連携会議」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「女性支援法全国フォーラム」(オンライン開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者からの暴力相談担当職員基礎研修」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。 「配偶者からの暴力相談担当職員スキルアップ研修」(松山市にて開催)に女性相談支援員1名が参加した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年4月～困難な問題を抱える女性への支援に関する法律が施行され、女性相談支援員が支援する対象者の範囲が広がった。引き続き、定期的に研修会等へ参加し、さらなる知識や技術の向上等に努めていく。研修参加者による課内の情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を図ることができた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	10
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援対応マニュアルの見直しと活用			
担当	子育て支援課			
事業概要	庁内全体で迅速かつ的確なDV被害者支援に努めるため、庁内支援体制についての対応マニュアルを適宜見直す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	11月27日に開催したDV被害者支援庁内研修会において、「各課のDV支援と連携」や「関係機関によるDV支援」等を紹介し、担当者への周知徹底を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	関係課の担当者が変更となった際、新たな担当者に「DV被害者支援対応マニュアル」について、把握してもらう必要がある。集合形式での庁内研修会の開催ができ、参加者には庁内でのDV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	11
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-2	自立に向けた総合的な支援体制の充実		
事業名	DV被害者支援庁内連絡会議の運営			
担当	子育て支援課			
事業概要	関係課で構成するDV被害者支援庁内連絡会において、被害者情報を速やかに共有する。また、支援の重要性を徹底し、支援方法や注意事項などについての情報を共有するとともに、職員の意識向上を図るために研修の機会を設ける。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	11月14日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会が開催され、各市町との情報共有を行った。 11月27日にDV被害者支援庁内研修会を開催し、公益財団法人えひめ女性財団の方を講師に迎え、学びを深めるとともに22の関係課との情報共有を行った。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	庁内関係課の担当者に対し、DV支援に関する基本的な内容の研修を毎年実施しているが、スキルアップした内容の検討や担当者異動に伴う引継ぎにおいても、周知徹底を行っていく。課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。 外部講師を迎えた研修を行い、知識を深めるとともに、DV被害者への支援体制について、周知徹底ができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	12
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	地域におけるDV等被害者の早期発見			
担当	市民防災安全課			
事業概要	地区防犯協会等と連携し、市民に対し、改正DV法や改正ストーカー規制法の周知啓発、相談機関に関する情報提供を行う。また、研修会の機会を通じて、松山市防犯協会推進員等に対し、周知啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	12月14日実施の「松山市暴力団排除推進連絡協議会・松山市防犯協会合同研修会」で、愛媛県男女共同参画センターの石丸世志氏を講師に招き、「家庭内の暴力に気づきつなぐ～誰もが支援につながるために～」を演題に研修を行った。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	松山市防犯協会の各支部(地区ごと)の支部長や各地区まちづくり協議会の代表者などを対象に研修会を実施し、43名の参加者に対して、重点目標をふまえた周知啓発を行うことができた。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	13
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	関係機関との連携			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県や警察、県内市町などで構成する連絡会議での情報共有を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	11月14日に愛媛県ドメスティック・バイオレンス防止対策連絡会が開催され、各市町との情報共有を行った。 11月17日に配偶者暴力相談支援センター連携会議が愛媛県視聴覚福祉センター（松山市）にて開催され、各市町の担当者を持ち寄られた議題について情報交換を行った。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	庁内関係課とのさらなる連携が必要であり、相談の窓口となる女性相談支援員の知識や技術の向上に努めていく。参加者による課内での情報連携・共有を行い、専門知識や相談対応能力の向上を再確認することができた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度（%）			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	14(112)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-3	関係機関・団体との連携による暴力への対処等		
事業名	子育て短期支援事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	経済的な理由やDV被害等により、緊急一時的に保護をすることが必要な母親と児童を児童養護施設及びその他保護を適切に行うことができる施設において、7日以内で預かる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	緊急一時保護を愛媛母子生活支援センターと松山市小栗寮で1件ずつ行い、母子の安全を確保した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	子育て短期支援事業での緊急一時保護を行うことで、母子を安全に保護することができた。 第3期子ども・子育て支援事業計画策定に伴い、実施後に利用時の様子や今後の体制についての声(意見)や希望を伺っている。R6年度に就学前児童と小学生児童の子を持つ親にアンケートを行った結果、本事業の認知度は約17%であった。一方、関係機関から本事業の問い合わせは一定数あることから、今後は、これまでの取組に加え、関係機関への周知や連携を通して支援を必要とする世帯へ情報が届くよう努める。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	15
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	えひめ性暴力被害者支援センターなど相談機関の周知・啓発			
担当	市民生活課			
事業概要	性暴力の被害者が早期に安心して相談できるよう相談機関の周知を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	HPや広報紙などで相談機関の周知を図った。
----------------	-----------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	引き続き、性暴力の被害者が早期に安心して相談できるよう相談機関の周知を図っていく。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	16(27)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	すくすく支援課			
事業概要	児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	(1) 大学生を対象に、保健師・助産師の講義を実施。女子学生に対しては、自分のからだを大切にできるよう、月経・避妊・子宮頸がん予防(ワクチン、検診)について、男女ともにプレコンセプションケアについて周知啓発を実施。 【実績】松山東雲女子大学・短期大学学生125名(女性のみ)、人間環境大学学生61名(男女)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	プレコンセプションケアの必要性について、男女とも若い世代に対して周知啓発を継続していくことが課題。 講演後のアンケートから、学生は概ね自分の健康について向き合い、今後の方向性について考えていることがうかがえる。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	17
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	教職員研修事業(性教育)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	経験年数に応じて実施する研修等で、コンプライアンス(教職員等による児童生徒性暴力等の防止を含む)の周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	経験年数に応じて実施する研修のうち、2年目研修の76名、中堅研修Ⅱ(教諭としての在職期間10年に達した者又は中堅研修Ⅰを終了して35歳以上の者)の67名、中堅研修Ⅲ(中堅研修Ⅱを終了して40歳以上の者)の25名に対して、愛媛県警から出向している松山市教育委員会主幹によるコンプライアンスの研修を行った。教職員等による児童生徒への性犯罪事件の一部を取り上げ、法律面や事件発生の経緯等を学ぶことで、児童生徒への性暴力防止の意識を高めることができた。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	各経験年数に応じて実施する研修において、コンプライアンスの研修を行ったことで、松山市内の小中学校教職員の不祥事防止に繋げることができた。 研修後の受講者アンケートでは、「性暴力を含む不祥事を起こさない」という回答から意識の高まりを見ることができた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	18(30)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健体育課			
事業概要	小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市立小中学校延べ30校、計4,873人の児童・生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び性に関する講演会を実施したほか、喫煙防止リーフレットを各学校でダウンロードして使用できるようにし、小学生（保護者含む）3,656人、中学生5,568人を対象に喫煙防止教室を開催した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	講演会については、思春期に対する理解を深め、性教育の推進を図る事ができた。喫煙防止リーフレットについては男女共同参画に配慮した内容で授業に使用することができた。また、性教育推進委員会より「思春期教室」の提案があり、R6年度より講演会の講師一覧に加えた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番			19(2,32)	
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援					
事業名	女性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300 件	R6	1,300 件	R7	1,300 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	電話相談:873件、面接相談:112件、メール相談【新規開設】:19件 合計:1,004件 相談の内容は「情報・暮らし」が最も多く13.7%であり、次いで「人間関係の悩み12.8%、「夫婦関係」12.3%であった。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	松山市や愛媛県が実施する相談員研修に参加することで、男女共同参画やDV被害者への対応等について学び、相談員の資質向上に資することができた。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	相談件数	1004 件	77%
-----------------------------	------	--------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	20(3,33)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援					
事業名	男性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80 件	R6	80 件	R7	80 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝39件、 男性面接相談＝23件 合計62件 相談内容で、最も多かったのは「情報・暮らし」(22.6%)、次いで「出生家族の悩み」(17.7%)、「仕事上の悩み」(12.9%)であった。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	対象が男性であるため、相談事業全体のカラーパンフレットに加え、男性相談単独のチラシを作成し配布している。 今後は、SNSを活用した情報発信にも取り組んでいく。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	相談件数	62 件	78%
-----------------------------	------	------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	21(26,49)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	地域包括支援センター運営事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。 地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を161回開催したほか、地域の行事に715回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。 また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を4回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われず、様々な相談に対し、適正な相談支援を行った。 住み慣れた地域で安心して生活が継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。 高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応した。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	22(50)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	高齢者いきいきチャレンジ事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	市内在住の65歳以上の高齢者が対象。市等が主催する、福祉又は健康に関する特定のイベント等に参加した場合にポイントを付与する事業。高齢者の外出機会の創出、身体機能の低下の防止及び健康寿命の延伸につなげることを目的としており、1回の参加で1ポイントが貯まり、2ポイント貯まるごとに道後温泉別館飛鳥乃湯泉の入浴券と交換となる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年7月に65歳以上を対象とした健康アプリ「脳にいいアプリ」を導入した。従来のイベント参加でのポイント付与に加え、目標歩数の達成、脳トレゲーム、食事の記録、健診等の受診等でもポイントを付与し、貯まったポイントは道後温泉別館飛鳥乃湯泉で利用できるほか、PayPayと交換できるようリニューアルした。令和5年度には、約700人がアプリを登録し、高齢者の健康づくり、介護予防、外出機会の創出につながった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	広報紙や民間の広報媒体を活用し、幅広く事業の周知を行ったが、アプリ登録者は男性が4割、女性が6割となっている。本事業は、無理なく楽しく健康習慣を身につけることができるため、令和6年度は、男女問わず登録者の増加に向けて、アプリやスマホに不慣れな高齢者にも登録してもらえるよう相談窓口の充実を図るほか、外部の客観的な評価も取り入れるため、利用者アンケートの実施なども検討する。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	23
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	市民一人一人の生涯にわたる心と身体の健康の保持増進を目標に、市民が主体的に健康づくりに取り組むための支援や、健康づくりのための環境整備を行うため、計画の進捗管理の一貫として懇談会を開催			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	松山市健康増進計画「健康ぞなもし松山」の最終年度にあたり、関係団体等から15名（男性7名、女性8名）の推薦を受け、松山市健康増進計画推進懇談会を2回開催。それぞれの立場から幅広い意見を得ることで、次期計画「松山市健康増進計画2024」の策定に役立てることができた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和6年度から開始となる計画では、健康日本21（第三次）に基づき、女性特有の健康課題についての数値目標を設定している。 目標達成に向け、松山市健康増進計画推進懇談会でも性差を理解したうえでの女性の健康づくりに対する意見の聴取が必要となる。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	24
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	松山市食育推進計画の進捗管理			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	多様な関係機関と連携し、市民が食に関する適切な判断力を養い、生涯にわたり健康な心身と豊かな人間性を育めるよう、食育を推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	松山市食育推進計画の最終年度にあたり松山市食育推進会議を開催し、計画の進捗状況を報告するとともに、目標値の達成等について評価を実施し、審議を重ね、次期計画を策定した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	食育推進計画の策定や推進を担う、松山市食育推進会議(審議会)の委員選出時は、女性登用率50%を目指した調整に努めている。あわせて、推薦依頼を行う団体や公募委員についても性別にとらわれることなく、食との関連や関心などが深い団体・個人を選定している。 こうして委嘱した委員とともに、第4次松山市食育推進計画に基づき、食育を推進し指標目標の達成を目指している。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	【歯科検(健)診受診者数】4,274名(すくすく支援課担当分除く) 【特定健診受診者数】22,510名(令和4年度値。令和5年度値は集計中。) 【がん検診受診者数】86,636名(肺がんCT検査、前立腺がん検診含む)
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	関係課と連携し、性別に応じた検診の標記内容において、男女共同参画に配慮できているか確認をするようにした。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	保険給付・年金課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	(国保) 国保がん検診を無料化し、検診(特定健診含む)の習慣化を図った。検診を受診した理由、受診していない理由の把握を目的としたアンケートを実施し、より効果的な周知啓発のあり方を検討した。 (後期) 高齢者健診受診者のうち、異常値放置者に対し、病院受診勧奨を行った。また、高齢者健診・歯科健診未受診者に対し健診受診勧奨を行うなど、健診周知を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性特有のがん、女性特有のがん双方に無料化を実施した。受診勧奨等については、年齢、性別を問わず情報に接することができるよう、広報番組やSNS、フリーペーパー等、多様な広報媒体を活用し実施できた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	25
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-1	心とからだの健康づくりの支援		
事業名	各種健康診査の実施			
担当	すくすく支援課			
事業概要	生活習慣病やがん、歯科疾患の早期発見・早期治療を目的に特定健康診査やがん検診等の各種健康診査を実施している。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	【個別妊婦歯科健康診査】 妊娠中に1回、市内登録医療機関にて無料で歯科健康診査と歯科保健指導を実施（松山市歯科医師会委託）。ポスターを作成し、関係機関に掲示を依頼し、対象者参加の各事業にて受診勧奨を行った結果、受診者数は1,700人 受診率は58.0%であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【個別妊婦歯科健康診査】 妊婦の受診によって、パートナー及び、家族の口腔ケアの意識向上につなげていきたい。年々受診率は向上し、妊娠中の口腔ケアの重要性が多くの人に認知されてきている。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	26(21,49)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	地域包括支援センター運営事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を161回開催したほか、地域の行事に715回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。 また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を4回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われず、様々な相談に対し、適正な相談支援を行った。 住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。 高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応している。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	27(16)
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等【再掲】			
担当	健康づくり推進課			
事業概要	児童・生徒が、性や喫煙の害についての正しい知識を持つことができ、保護者が家庭における性教育に関心を持ち、子どもの心と体の健康について理解を深めることができるよう健康教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市内の中学3年生を対象に厚生労働省が作成した受動喫煙防止対策に関する啓発資料(中学生向けリーフレット)を配布【実績】配布校数:29校、配布枚数:4170枚
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	喫煙可能年齢前の若年層に対して、男女を問わず、受動喫煙に関する知識を周知啓発できた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	28
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	エイズ等特定感染症対策事業			
担当	保健予防課			
事業概要	HIV抗体検査、肝炎ウイルス検査、風しん抗体検査等の特定感染症検査及び相談を実施するとともに、正しい知識の普及啓発を実施。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	HIV抗体検査333件、エイズ電話・来所相談329件、肝炎ウイルス検査（B型肝炎ウイルス1,257件、C型肝炎ウイルス1,259件）、風しん抗体検査681件、梅毒検査327件を実施した。広報まつやまや市ホームページ、市公式LINEなど各種広報媒体を活用して周知啓発を行うとともに、HIV検査普及週間（6月1日～7日）や世界エイズデー（12月1日）に合わせて、関係機関や高校、大学、専門学校、風俗店等に、エイズ相談検査のポスターやフライヤーを送付した。また、愛媛県中予保健所、南海放送と共催で、世界エイズデーの街頭キャンペーンを実施したほか、大学祭でキャンペーンを行うなど、情報発信と予防啓発を行った。加えて、エイズ対策推進懇話会等を開催し、関係機関等との情報共有と連携強化を図った。継続した取組により、偏見・差別のない社会を目指したい。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	エイズ等特定感染症対策事業の実施により、受検者等の安心と早期発見・早期治療に繋がるほか、正しい知識と理解を得ることで、偏見・差別の撲滅と人権を守る社会が実現する。引き続き、プライバシーに十分配慮したうえで、本事業を実施してまいりたい。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	29
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援		
実行項目	1-2-2	健康をおびやかす問題への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健予防課			
事業概要	市内の中・高生を対象にエイズ予防についての正しい知識を持ち、予防及び人権的配慮ができるように支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	保健所医師と松山性病予防研究会の専門医が、5校1,815名を対象に、エイズや性感染症への正しい知識や予防、人権的配慮ができるよう、講演会を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	学校で講演会を実施することで、エイズや性感染症に対する知識や予防、人権等について、日常生活のなかで、確認し実践する機会となっているほか、市保健所で行っているエイズ相談検査(HIV抗体検査、梅毒、肝炎ウイルス検査等)の啓発に繋がっている。継続した取組を実施したい。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	30(18)
重点目標	1-1	男女間のあらゆる暴力の根絶		
実行項目	1-1-4	性暴力への対策の推進		
事業名	保護者等を対象とした講演会等			
担当	保健体育課			
事業概要	小中学生や保護者等を対象に、性や心と体の健康についての講演会を行い、また、授業の中で喫煙防止教育を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市立小中学校延べ30校、計4,873人の児童・生徒・教職員・保護者を対象に、子どものメンタルヘルス及び性に関する講演会を実施したほか、喫煙防止リーフレットを各学校でダウンロードして使用できるようにし、小学生(保護者含む)3,656人、中学生5,568人を対象に喫煙防止教室を開催した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	講演会については、思春期に対する理解を深め、性教育の推進を図る事ができた。喫煙防止リーフレットについては男女共同参画に配慮した内容で授業に使用することができた。 また、性教育推進委員会より「思春期教室」の提案があり、R6年度より講演会の講師一覧に加えた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	31(98)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	自殺対策						
担当	保健予防課						
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(48課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺対策を推進する。						
数値目標	会議開催数	R5	2 回	R6	2 回	R7	2 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	自殺対策庁内担当者会を2回(10月、12月)実施し、延べ76名の担当職員が参加した。 1回目(10月)では、「松山市の自殺の現状と自殺対策の取り組みについて」の講話及び「自殺対策に向けた庁内の連携強化について」のグループワークを実施し、各課での市民対応や事業の振り返りと課題の抽出を行った。 2回目(12月)では、NPO法人こころ塾の村松氏による講演「ゲートキーパーとして大切な事とセルフケアについて」及び「生きることの包括支援マップから考える自殺対策事業の実現について」のグループワークを実施した。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	受講後のアンケート結果では、今回の内容が「参考になった」「理解出来た」との回答が100%であった。 自殺対策については、男性・女性が「男性・女性としてあるべき姿」に縛られ、悩みや問題を一人で抱え込まないように、男女が相互に協力し、周囲の方が「ゲートキーパー」としてサポートできるよう、引き続き自殺対策庁内担当者会で周知啓発していきたい。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	会議開催数	2 回	100%
-----------------------------	-------	-----	------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	32(2,19)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	女性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性を対象に、女性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎日10:00～20:00(日祝10:00～16:00、木曜日、休館日は除く)						
数値目標	相談件数	R5	1,300 件	R6	1,300 件	R7	1,300 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	電話相談:873件、面接相談:112件、メール相談【新規開設】:19件 合計:1,004件 相談の内容は「情報・暮らし」が最も多く13.7%であり、次いで「人間関係の悩み12.8%、「夫婦関係」12.3%であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	松山市や愛媛県が実施する相談員研修に参加することで、男女共同参画やDV被害者への対応等について学び、相談員の資質向上に資することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談件数	1004 件	77%
-------------------------	------	--------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	33(3,20)			
重点目標	1-2	生涯を通じた男女の健康支援					
実行項目	1-2-3	自殺の予防と対策					
事業名	男性のための相談【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、男性相談員が心や人間関係等について、電話や面談による相談を行う。 毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30に心理相談員1名が受け付けている。						
数値目標	相談件数	R5	80 件	R6	80 件	R7	80 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	毎月第2水曜日・第4土曜日の18:30～20:30 男性心理相談員1名が対応 男性電話相談＝39件、 男性面接相談＝23件 合計62件 相談内容で、最も多かったのは「情報・暮らし」(22.6%)、次いで「出生家族の悩み」(17.7%)、「仕事上の悩み」(12.9%)であった。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	対象が男性であるため、相談事業全体のカラーパンフレットに加え、男性相談単独のチラシを作成し配布している。 今後は、SNSを活用した情報発信にも取り組んでいく。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	相談件数	62 件	78%
-----------------------------	------	------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	34(36)			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-1	情報活用能力(メディア・リテラシー)の向上支援					
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み						
担当	市民防災安全課						
事業概要	インターネットは、手軽に情報受信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。						
数値目標	インターネット安全教室実施回数	R5	50 回	R6	50 回	R7	50 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市内の小中学校を対象にNPO法人日本ガーディアン・エンジェルズ松山支部によるインターネット安全教室を30教室、愛媛県警察本部人身安全対策・少年課による情報モラル教室を18教室を実施した。(計48教室)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講後のアンケート結果により、受講者に必要なスキルを身につけてもらうことはできているが、実施回数が目標値に届いていないため、各学校への周知に関して工夫する必要がある。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	インターネット安全教室実施回数	48 回	96%
-------------------------	-----------------	------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	35			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-2	公的広報等で男女共同参画の視点に立った表現の促進					
事業名	男女共同参画の視点からの公的広報の実施						
担当	人権・共生社会推進課						
事業概要	公的広報（広報やホームページ、その他市が発行する印刷物等）では、男女の多様なイメージが社会に浸透していくような表現にすることが求められている。「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」の内容を市役所の各部局等に周知し、松山市が発信するあらゆる情報について男女共同参画に配慮した表現を推進する。また、必要に応じて適宜手引きの見直しを実施する。						
数値目標	周知回数	R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」を庁内ワーキンググループのメンバーに共有した。 また、全庁に公開する庁内キャビネに公開し、庁内で情報を共有できるようにした。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各課が、チラシやホームページなどすべての広報物を作成する際に参考にしてもらうため、認知度の向上が課題である。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）	周知回数	1 回	100%
-------------------------	------	-----	------

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	36(34)			
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重					
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応					
事業名	ネットトラブルから子どもを守る取り組み【再掲】						
担当	市民防災安全課						
事業概要	インターネットは、手軽に情報発信ができ、私たちのライフスタイルに大きな影響を与えている。社会経験が少ない子どもたちをネットトラブルから守るため、NPO等の市民活動団体との連携によるインターネット安全教室の実施を行うなど、メディア・リテラシーの啓発を行う。						
数値目標	インターネット安全教室実施回数	R5	50 回	R6	50 回	R7	50 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市内の小中学校を対象にNPO法人日本ガーディアン・エンジェルス松山支部によるインターネット安全教室を30教室、愛媛県警察本部人身安全対策・少年課による情報モラル教室を18教室を実施した。(計48教室)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講後のアンケート結果により、情報活用能力の向上につながっている。内容はインターネット上の女性に対する暴力等への対応に特化したものではないが、引き続き、対象の年齢に応じた検討を行う。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	インターネット安全教室実施回数	48 回	96%
-------------------------	-----------------	------	-----

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	37
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応		
事業名	インターネットに関する相談機関の案内			
担当	市民生活課			
事業概要	インターネット上でのトラブルに関する相談に対して、相談内容に応じて関係機関につなげるなど、的確な対応に努める。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	インターネット上でのトラブルに関する相談に対して、相談内容に応じて関係機関につなげるなど、的確な対応に努めた。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	性別に捉われず、様々な相談に対して適正な相談支援を行った。 常に相談者に寄り添うことを心掛け、その思いを丁寧に傾聴することで、相談者に応じて適切な対応が図られた。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	1	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	38(82)
重点目標	1-3	メディアでの男女の人権の尊重		
実行項目	1-3-3	インターネット上の女性に対する暴力等への対応		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に研修講座を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	以下のとおり、人権啓発講座(6回)を実施した。 【第1回】職場のハラスメント 【第2回】企業の社会的責任・企業倫理～SDGs・ビジネスと人権の実践～ 【第3回】個人情報保護と人権 【第4回】障がい者雇用と人権 【第5回】性的マイノリティの基本的理解と企業 【第6回】公正な採用選考について
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。 第5回では、性的マイノリティの基本的理解と企業としての支援についてテーマとして取り上げ、男女共同参画や性別による差別・偏見に対する意識啓発を図った。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	39			
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進					
事業名	人権啓発推進員の養成						
担当	人権・共生社会推進課						
事業概要	市内41地区公民館等から推薦された方を「人権啓発推進員」に認定し、人権教育・啓発に関する地域のリーダーとしての資質の向上、意識の高揚を図ることにより、各地域における人権教育推進の組織整備・充実を目指すとともに、豊かな人権感覚と男女共同参画意識の拡大に努める。						
数値目標	人権啓発推進員認定者数	R5	1,000 人	R6	1,000 人	R7	1,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	以下のとおり、人権啓発推進員養成講座(4回)を実施した。 【第1回】「許せません！差別は」―被差別の方たちの立場に立って― 【第2回】知ろう、なくそう、家庭・地域でのハラスメント 【第3回】外国人の人権と多文化共生 【第4回】社会が変わる、人が変わる―「人権文化の創造」に努める― ※令和5年度から、人権啓発推進員経験者研修を廃止し、人権啓発推進員養成講座に統合した。 また、今年度に認定された人権啓発推進員等を対象に、地域活動の取組事例などについて情報交換や共有を行い、地域活動につなげることを目的として「人権啓発推進員地域活動に関する研修」を初めて開催した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。 第2回では、性別による固定的な役割分担意識やそれに基づく社会慣習によるジェンダーハラスメントを女性への人権侵害の一例として取り上げ、ハラスメントをなくすために意識を向けたいことやハラスメントを受けたときの行動等について学ぶ講座を実施した。 また、令和5年度から、アンケートの性別欄の必要性を見直し、性別欄を削除した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	人権啓発推進員認定者数	972 人	97%
-------------------------	-------------	-------	-----

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	40
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	市民が主体となった男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	コムズフェスティバルにおいて、市民グループ等が主体となり、男女共同参画に関する講演会・学習会等を市民企画分科会として実施する。分科会の企画立案や準備にあたっては、有識者やセンター職員が男女共同参画の視点からアドバイスを行うとともに、実行委員相互の交流を深める機会とする。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市民企画分科会は11団体が選考審査会を経て実施し、希望の団体は愛媛CATVの協力により収録放送を行った。後日開催した報告交流会では、全11団体が出席し、有識者からの指導助言とともに、今後の活動に向けて情報交換を行った。基調講演はコラムニスト、ラジオパーソナリティーのジェーン・スーさんを講師として招聘し、来場参加者数315名、YouTubeによるライブ配信と録画配信による視聴回数は1297回であった。 また、松山工業高等学校のボランティア団体「チームSave Our Future」さんによる高校生イベントを開催した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民企画分科会は、選考審査会及び報告交流会における有識者による助言や、これまでの継続した分科会への参画により、充実した魅力ある内容となっている。また、新規の団体の参画もあり、活動の活性化に繋がった。次年度も参加人数の増加をめざして、市民企画分科会に新規で参加する市民団体を発掘していく。 また、高校生イベントは、避難所運営や日常生活にジェンダーの問題が潜んでいることを松山工業高校の生徒さんが問題提起し、他校の高校生も交えて活発な意見交換がなされ、ジェンダーと防災とのかかわりについて理解を深めることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	41
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し		
実行項目	2-1-1	男女共同参画に関する啓発・広報活動の推進		
事業名	男女共同参画に関する情報の収集及び提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	図書・資料の収集や提供、情報誌「コムズ」の発行、インターネットを活用した広報活動等を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	男女共同参画の視点で書かれた図書等を19分野に分類し配架している。令和5年度の貸出冊数は6,443冊と前年度比108.2%であった。 情報誌は、アンコンシャス・バイアスをテーマに作成した(年1回発行)。 HPは講座案内や図書紹介等、随時更新。 各種SNSで、講座の参加募集や相談事業の周知等、随時情報発信を行った(フォロワー数は、Facebook:714名、Instagram:172名、X:39名、公式LINE:125名)。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	新型コロナウイルスの感染拡大及びそれによるセンターの休館により減少していた貸出冊数が徐々に元に戻りつつある(令和元年度:6,725冊、令和2年度:5,608冊、令和3年度:4,122冊、令和4年度:5,954冊、令和5年度:6,443冊)。 SNS(Instagram、Twitter、公式LINE)を開設したことにより、集客へとつながった。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	42			
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-2	固定的性別役割分担意識に基づく社会制度・慣行の見直し					
事業名	男女共同参画に関する各種実態調査						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男女共同参画の推進のために、「男は仕事、女は家事育児」等、性別による固定的役割分担意識等の男女共同参画に関する市民の意識や生活実態について、調査・分析を行う。分析結果は、事業展開や啓発活動の内容等を検討するための基礎資料とするとともに、市民に対し公表する。						
数値目標	実態調査の結果を周知する講座等の開催回数	R5	1 回以上	R6	1 回以上	R7	1 回以上

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和3年度に、松山市在住（住民登録している）の20歳 から79歳 までの男女3,000人を無作為抽出し「男女共同参画に関する市民意識調査」を実施し、集計を行った。令和4年度は、有識者を委員とする検討・分析委員会を5回開催し、報告書及び概要版を作成した。令和5年度は、報告書及び概要版を市内各所や、講座参加者に配布し、結果の周知と男女共同参画に関する意識啓発を行った。また、アンコンシャスバイアスをテーマに作成した情報誌においても調査結果を取り上げ、松山市民の意識と実態について、広く市民に知っていただく取組を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	報告書及び概要版を出張講座や主催事業の参加者に配布し、講座の学びに関連する資料データを提供することで、講座の学びがさらに深まった。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）	実態調査の結果を周知する講座等の開催回数	2 回	200%
-------------------------	----------------------	-----	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～				通番	43(144)
重点目標	2-1	社会での制度や慣行についての見直し					
実行項目	2-1-3	アンコンシャス・バイアスによる悪影響の解消					
事業名	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について学び、無意識のうちに刷り込まれた自分自身のものの見方や捉え方に気づく講座を開催する。						
数値目標	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	R5	3 回	R6	3 回	R7	3 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	アンコンシャス・バイアスについての理解を深める情報誌を1,000部発行し、市内各所に配布したほか、アンコンシャス・バイアスについての出張講座も開催した。 また、公開講座では、「男なのに育休取るの?」「女性だからそんなに頑張らなくていいよ」など、アンコンシャス・バイアスによって生まれる言葉を指す「駄言」をテーマにした講演会を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に関するアンコンシャス・バイアスによる悪影響は、性別や年代に関わらず全ての人に関係する身近な問題であることを情報誌で発信し、講座等で啓発することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	4 回	133%
-------------------------	----------------------	-----	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～				通番	44
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	介護予防と認知症サポーターの養成						
担当	長寿福祉課						
事業概要	介護予防を推進する活動に取り組む住民主体のグループを支援するとともに、認知症高齢者やその家族を優しく見守る支援者を養成する。						
数値目標	ふれあい・いきいきサロン延べ参加者数	R5	108,000 人	R6	67,040 人	R7	67,040 人
	認知症サポーター養成講座受講者数		5,000 人		4,500 人		5,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年4月から、従来の「ふれあい・いきいきサロン」の登録条件を緩和した「ふれあい・いきいき緩和型サロン」の支援を開始し、制度説明会や周知活動を積極的に行ったことで、従来のサロン数は減少したものの、緩和型サロンは、目標数50サロンを超える56サロンが活動を開始した。 また、認知症の方やその家族を見守る支援者を養成するため、認知症サポーター養成講座を77回開催し、3,908名が受講した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コロナ禍を経た生活スタイルの変化やお世話人の高齢化等が原因で、サロン数が減少したことによってサロン延べ参加者数が減少していることが課題となっている。 従来のサロンでは活動が継続できなかったが、令和5年4月から開始した緩和型サロンに移行することにより活動を継続できたグループも複数あり、介護予防活動の継続を推進することができた。引き続き、性別に捉われず誰にとっても参加しやすいように普及啓発に努めていきたい。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	ふれあい・いきいきサロン延べ参加者数	67040 人	62%
	認知症サポーター養成講座受講者数	3908 人	78%

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～				通番	45
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	ファミリー・サポート・センター(介護)						
担当	長寿福祉課						
事業概要	ファミリー・サポート(介護)は、介護について、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(食事の準備や後片づけ、部屋の掃除や衣類の洗濯、留守見守りや話し相手)が円滑に行われるように調整する。						
数値目標	援助を行った年間活動件数	R5	5,000 件	R6	5,500 件	R7	0 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	公益財団法人松山市男女共同参画推進財団に委託。制度普及を図るため、会員募集広告及び提供会員募集の説明会を実施し、事業周知を行い新規会員の増加に努めた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	適切なコーディネートに努め、利用件数の維持が図れた。 高齢者等に対する軽易な介護等の援助を対象とした会員同士の相互援助活動を支援した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	援助を行った年間活動件数	5042 件	101%
-------------------------	--------------	--------	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	46			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実					
事業名	障がい者総合相談窓口事業						
担当	障がい福祉課						
事業概要	障がい者等からの訪問や電話による相談に対し、福祉サービスの利用援助や就労支援等、必要な支援を行う。また、企業や市民に対し、発達障がいについて広く啓発研修を実施する。						
数値目標	総合的・専門的な相談支援の実施件数 (委託相談支援分を含む)	R5	22,000 件	R6	22,000 件	R7	22,000 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	本庁別館1階の福祉・子育て相談窓口内に設置した「障がい者総合相談窓口」で、身体・知的・精神の3障がいに加え、発達障がいや高次機能障がい、難病などに対応した相談支援を行った。(令和5年度支援件数:8,407件)また、事業者を対象に発達障がい者や就労支援に関わる研修会を開催したほか、地域の相談機関との連携強化に向けた検討会や連絡会を5回実施した。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】令和5年度支援件数 8,407件。性別に捉われず、多様性を重視しながら相談者に寄り添った対応をした。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	総合的・専門的な相談支援の実施件数(委託相談支援分を含む)	30816 件	140%
-----------------------------	-------------------------------	---------	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～					通番	47
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備						
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者（児）、外国人への支援や介護環境の充実						
事業名	外国人に対する生活サポートボランティア							
担当	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）							
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、外国人市民からの相談に対し助言を行うとともに、必要に応じて登録制のサポートボランティアを同行させ、サポートを行う。							
数値目標	生活サポートボランティア登録者数		R5	200 人	R6	180 人	R7	190 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	(1)医療同行サポート12回(12人) (2)日常生活サポート25回(70人) (3)オタスケマンミーティング8回(113人)
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	令和6年度からボランティア登録制度を見直し、これまで言語別、内容別に行っていた登録区分をなくし、「MICボランティア」として一元化する。これにより、市民ボランティアのすそ野が広がり、より多くの市民の国際交流や国際親善活動の促進を図っていく。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	生活サポートボランティア登録者数	195 人	98%
-----------------------------	------------------	-------	-----

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	48
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	在宅医療・介護連携推進事業			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の在宅医療に関わる医療・介護関係者が円滑に連携するための仕組み作りに取組むとともに、在宅医療や介護に関する相談窓口を広く周知する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	11月23日に在宅での医療と介護を考えるシンポジウムを開催し、地域包括ケアシステム構築に向けての市の取り組みや、在宅医療や介護についての相談窓口、医療や介護が必要になっても在宅で暮らすための支援等について周知したほか、介護・医療の事例集を改訂し市有施設等で配布した。 また、在宅医療に関わる医療・介護関係者が円滑に連携するための仕組み作りとして、市が作成している連携ツールについての周知を行い、活用状況調査を実施し結果を市ホームページに公表した。 さらに、事業の課題や対応策について検討するための会議を開催した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	シンポジウムの実施や事例集の配布等、性別に捉われず事業を実施し、市民に在宅医療や介護について周知することができた。引き続き、性別に捉われることなく、広く市民に周知していきたい。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	49(21,26)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	地域包括支援センター運営事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを運営する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	高齢者の地域の相談拠点として、市内13カ所の地域包括支援センターと2ヶ所のサブセンターを設置し、社会福祉法人や医療法人など13法人に運営を委託した。 地域包括支援センターでは、高齢者やその家族などから年間、約35,700件の相談があった。また、関係機関との連絡会を161回開催したほか、地域の行事に715回参加するなど、地域のネットワークを構築するため、医療機関や介護事業所、民生委員などと連携を図った。 また、長寿福祉課内には、基幹型地域包括支援センターを設置し、地域包括支援センター間の連携や専門職の部会を11回、研修会を4回行うなど各職員のスキルアップを図ったほか、運営協議会の意見を踏まえたうえで、公正中立性を担保するための事業評価を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われず地域住民の様々な相談を受け、適切な機関・制度・サービスにつなぎ、継続的な支援を行い、住み慣れた地域で安心して生活を継続できるよう、地域における関係者とのネットワークの構築を図った。 高齢者虐待に対する相談、通報に関し、地域包括支援センターと基幹型地域包括支援センターが連携をとり、対応している。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	50(22)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	高齢者いきいきチャレンジ事業【再掲】			
担当	長寿福祉課			
事業概要	市内在住の65歳以上の高齢者が対象。市等が主催する、福祉又は健康に関する特定のイベント等に参加した場合にポイントを付与する事業。高齢者の外出機会の創出、身体機能の低下の防止及び健康寿命の延伸につなげることを目的としており、1回の参加で1ポイントが貯まり、2ポイント貯まるごとに道後温泉別館飛鳥乃湯泉の入浴券と交換となる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年7月に65歳以上を対象とした健康アプリ「脳にいいアプリ」を導入した。従来のイベント参加でのポイント付与に加え、目標歩数の達成、脳トレゲーム、食事の記録、健診等の受診等でもポイントを付与し、貯まったポイントは道後温泉別館飛鳥乃湯泉で利用できるほか、PayPayと交換できるようリニューアルした。令和5年度には、約700人がアプリを登録し、高齢者の健康づくり、介護予防、外出機会の創出につながった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	広報紙や民間の広報媒体を活用し、幅広く事業の周知を行ったが、アプリ登録者は男性が4割、女性が6割となっている。本事業は、無理なく楽しく健康習慣を身につけることができるため、令和6年度は、男女問わず登録者の増加に向けて、アプリやスマホに不慣れな高齢者にも登録してもらえるよう相談窓口の充実を図るほか、外部の客観的な評価も取り入れるため、利用者アンケートの実施なども検討する。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	51
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	障がい児相談窓口事業			
担当	障がい福祉課			
事業概要	子どもの発達で気になること、不安に感じていること、子ども自身の悩み等、相談の内容に応じて、各種支援サービスの申請に関する助言、サービスを受けるための調整まで、障がいの有無や種別を問わず、子どもの発達につながる支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	松山市ハーモニープラザ3階に設置した「こどもの相談室ふらっと」で、概ね18歳までの子ども及びその保護者を対象に、福祉サービスの利用等に関する相談や障がいの理解に関する支援など、子どもの発達に関する相談支援を行った。(令和5年度支援件数:4,240件)
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】支援件数 4,240件。事業実施の際には性別のみならず、あらゆる面で平等な取り扱いを実施している。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	52
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	障がい者相談支援事業			
担当	障がい福祉課			
事業概要	身体・知的・精神などの障がい者、難病患者からの相談に応じ、必要な情報の提供及び助言その他の障害福祉サービスの利用支援等、関係機関と連携して必要な支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	市内北部と南部に設置している「障がい者地域相談支援センター」で市在住の障がい者、支援関係者等からの相談に対し、それぞれの障がい者に応じた適切な援助を行った。(令和5年度支援件数:北部8,094件、南部14,315件)また、地域の相談機関との連携強化に向けた検討会や連絡会を5回実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	【課題】今後、広報物等を作成する場合に、「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」に基づいた適切な内容で作成する。 【成果】令和5年度支援件数 北部8,094件、南部14,315件。性別に捉われず、多様性を尊重しながら相談者に寄り添った対応をしている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	53
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-1	高齢者、障がい者(児)、外国人への支援や介護環境の充実		
事業名	精神保健福祉事業			
担当	保健予防課			
事業概要	障害者総合支援法及び精神保健福祉法に基づき、自立支援医療精神通院公費負担、精神障害者保健福祉手帳の申請事務を実施する。また、精神障がい者の家族に対する家族教室等の開催や精神保健福祉に関する情報の周知啓発を行い、市民の心の健康づくりを推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市内在住の精神障がい者の家族を対象に年6回家族教室を開催し、延175人が参加した。参加者アンケートを実施して参加者の希望を確認の上、講演テーマに応じた講師選定を行っている。家族間の交流や情報共有を目的に、講演後に毎回座談会の時間を設けている。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	リピーターの参加者が多いため、新規参加者を増やすための周知広報が必要である。全般的に女性の参加者が多い傾向にあるため、男性も気軽に話がしやすいよう教室時に職員から声掛けを行っている。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	54			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援					
事業名	若者の正社員化及び就労訓練						
担当	ふるさと納税・経営支援課						
事業概要	雇用情勢は改善しているが、若年者を取り巻く雇用環境は依然として厳しく、非正規雇用のままで年齢を重ね、本来正社員として習得すべきキャリアが形成されていない若者が増えてきていることから、公共職業訓練校の受講生に対し、日額(交付要綱で定める)に通学日数を乗じた金額を職業訓練奨励金として支給し、経済的支援を行う。また、その認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所を対象に雇用の奨励金を支給する。						
数値目標	訓練奨励金認定者の正規雇用者数※累計	R5	14 人	R6	28 人	R7	42 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	公共職業訓練を受講する一定要件を満たした若年者に対し、訓練期間中に職業訓練奨励金を支給し、経済的支援を行った。また、職業訓練奨励金の認定を受けた訓練生を正規雇用した事業所に対し、雇用奨励金を支給し、若年者の正社員化を支援した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	職業訓練を受講する若年者を支援し、就職につなげることができた。また、正規雇用奨励金の認定社数は例年並みであったことから、訓練修了生の正規雇用につながる支援が行えていると考える。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）	訓練奨励金認定者の正規雇用者数※累計	42 人	300%
-------------------------	--------------------	------	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	55
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	市民からの各種相談への対応			
担当	市民生活課			
事業概要	弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーが専門的な相談に応じる。 弁護士相談：第1～4水曜日、司法書士相談：第1木曜日、ファイナンシャルプランナー相談：第1火曜日に実施			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	弁護士、司法書士、ファイナンシャルプランナーが多重債務相談など専門的な相談に応じた。 【令和5年度実績】 弁護士相談：656件、司法書士相談：53件、ファイナンシャルプランナー相談：19件
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度に対する 課題・成果	市民からの相談を的確に把握し、専門家による相談等に繋げることができた。
------------------------------	-------------------------------------

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	56
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	生活困窮者自立支援事業			
担当	生活福祉総務課			
事業概要	生活困窮者の生活基盤の安定を図るとともに社会的・経済的自立を目指すため、生活保護に至る前のセーフティネットを構築、自立に向けた相談支援、住居確保のための支援金給付などを行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	生活困窮者に対し、自立に向けた相談や自立プランの作成等を行うほか、住宅確保のための支援給付を行うことで生活基盤の安定を確保するとともに、社会的・経済的な自立と生活向上を図った。 (内訳) 生活困窮者自立相談支援事業委託料 25,677千円 住居確保給付金 2,341千円 その他経費 1,026千円 生活困窮者自立相談支援状況 ○新規相談件数 754件 ○自立プラン作成件数 101件 ○住宅確保決定件数(延長含む) 22件 ○就労支援対象者数 81人
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 3点	60%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	×
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】相談窓口や支援内容の情報をHP等の媒体を利用して、住民に分かりやすく発信し、相談窓口利用向上に努めていきたい。 【成果】生活に困窮する市民の方からの相談について、一人一人の状況に応じ、課題の解決に向けた支援プランを作成し、支援プランに基づいて、関係機関等と連携し、自立に向けた支援に努めている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	57
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	生活保護支給事業			
担当	生活福祉総務課			
事業概要	生活に困窮する全ての市民に対し、最低限度の生活を保障するとともに、その自立を助長するため、その困窮の程度に応じ、必要な保護を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	市民の最低生活を保障するため、生活保護費を支給した。 支給した延べ人員:394,399人、生活保護費(扶助費):19,352,928千円 (内訳) 生活扶助 延べ人員:114,870人、扶助費:5,225,370千円 出産扶助 延べ人員:1人、扶助費:462千円 住宅扶助 延べ人員:120,533人、扶助費:3,233,215千円 生業扶助 延べ人員:1,614人、扶助費:25,551千円 教育扶助 延べ人員:5,138人、扶助費:47,134千円 葬祭扶助 延べ人員:296人、扶助費:51,147千円 介護扶助 延べ人員:33,177人、扶助費:607,609千円 就労自立給付金 延べ人員:84人、扶助費:3,458千円 医療扶助 延べ人員:118,660人、扶助費:10,155,182千円 進学準備給付金 延べ人員:26人、扶助費:3,800千円			
------------	---	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 3点	60%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	×
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	生活に困窮する市民の方からの相談について、性別に関わらず、国民の権利であることを周知して申請・相談しやすい雰囲気作りに努めている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	58
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-2	貧困など生活上の困難に直面する男女への支援		
事業名	松山市子ども健全育成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	貧困の連鎖を防止するため、生活保護世帯を含む低所得者世帯等の中学生に対し学習の場を提供することにより、学習習慣の定着や学習意欲の向上を図るとともに、進学を目指すことで将来の選択肢が広がるよう、社会的自立を支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	毎週土曜日に市内3ヶ所で「松山市子ども健全育成事業（土曜塾）」（松山市青少年育成市民会議へ委託）を実施。学習の場を提供し、学習支援を通じて学習習慣の定着と学力向上を図るとともに、他者との交流を通じて社会性の育成を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加登録者153名（ひとり親世帯127名、低所得者世帯26名）、延べ1,808人の参加。 参加した中学3年生の高校進学率が12年連続100%と、学習の場としての成果があがっているほか、大学生サポーターとの触れ合いによって、心の成長にもつながっている。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	59			
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備					
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施					
事業名	平和への取り組み						
担当	市民生活課						
事業概要	「北京宣言及び行動要領」で示された「平等・開発・平和」の目標を達成するため、本市では戦争遺品を展示する「平和資料展」や、市文化財となった「掩体壕」を活用し、平和の尊さや大切さについての理解を広げていく。						
数値目標	平和資料展の来場者数	R5	6,300 人	R6	6,300 人	R7	6,300 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	【平和資料展】令和5年7月21日～27日に松山市総合コミュニティセンターで開催した。松山市が保管している戦争遺品や市民から寄贈していただいた遺品、写真やパネルを展示し、平和に関するビデオを終日上映した。 【掩体壕】平成30年5月に掩体壕が松山市指定文化財に指定され、令和2年度に保存整備工事を実施し、令和2年11月28日から一般公開をした。令和5年度は約170名の方が見学を実施した。 【掩体壕と資料展見学会の実施】小中学生・保護者を対象に見学ツアーを令和3年度から実施。令和5年度は9組25名が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	掩体壕の利活用、平和資料展を実施して戦争を知らない若い世代(小中学生)に対して、平和の尊さや大切さを伝えていく。 平和資料展来場者数約5,800人となり、令和4年度来場者数約3,400人より大幅に増加し、小中学生を中心に戦争の悲惨さや尊さを伝えることができた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	平和資料展の来場者数	5772 人	92%
-------------------------	------------	--------	-----

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～					通番	60
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備						
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施						
事業名	国際性豊かな人づくり							
担当	観光・国際交流課（公益財団法人松山国際交流協会）							
事業概要	松山市から運営補助金を交付している公益財団法人松山国際交流協会が、中学生海外派遣など、青少年を対象とした国際交流・国際理解事業を実施することで、国籍や性別などに対する心の壁をつくることなく、多様な価値観を受け入れることができる人材を育成する。 ※（公財）松山国際交流協会では、毎年夏休みに中学生を3つの姉妹・友好都市に派遣する「まつやま中学生海外派遣事業」を実施している。その応募資格となる、国際交流事業への参加を促す「中学生チャレンジプロジェクト」を実施しており、派遣前に松山で国際交流事業に参加し、その意義や楽しさを体感してもらうことで、「身近な国際体験⇒海外での実践⇒帰国後の貢献」の仕組みづくりに取り組んでいる。							
数値目標	中学生海外派遣者数	R5	1,600 人	R6	1,630 人	R7	1,660 人	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「まつやま中学生海外派遣」については、コロナウィルス感染症の影響で派遣はなし。 「中学生世界体験プロジェクト」については、2/12(63人)、3/17(54人)、3/26(63人)、3/29(39人)いずれも9:30～16:30で実施。内容は「世界のいろいろな国について知る」外
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	※【令和6年度】令和6年7月「まつやま中学生海外派遣2024」に、「中学生世界体験プロジェクト」に参加した市内の中学生をサクラメント市、フライブルク市、平澤市に各10名派遣した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）	中学生海外派遣者数	1604 人	100%
-------------------------	-----------	--------	------

主要課題	2	社会制度・慣行の見直しと意識改革 ～豊かに暮らせる社会を目指します～	通番	61(142)
重点目標	2-2	誰もが安心して暮らせる条件の整備		
実行項目	2-2-3	多様性を尊重し相互理解を促進する取組の実施		
事業名	教職員研修事業(性の多様性)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	人権・同和教育主任研修や教職員の経験年数に応じて実施する研修で、性の多様性を正しく認識し、性的少数者に対する偏見や差別意識の解消を進めるとともに、自他の人権を認め合う教育を行うために、「松山市人権啓発施策に関する基本方針」に基づき、教職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	教職員の経験年数に応じて実施する研修では、「ジェンダー平等を考える」と題し、松山市男女共同参画推進センター館長に御講義いただいた。また、動画視聴にて、学校での性差によらない対応等の内容を含む人権・同和教育についての研修を行った。人権・同和教育主任研修では、松山東雲短期大学教授を講師に迎えジェンダー教育について、また、事務職員研修では、「学校現場における性の多様性について」と題し、松山市人権啓発課指導員に御講義いただいた。生徒指導主事研修では、「生徒指導上の課題と効果的な指導について」の演習の中で、性の多様性に対応するための具体的な方法等について協議を行った。対面での研修は延べ345名、動画での研修は66名が受講した。 受講者からは、「子どもたちが実際にその問題に対面した時、考えて選択できるよう正しい知識を教えておくことが大切だと分かった。」「全ての人が当事者である、という思いが大切。」「教師が正しい知識を持って子どもに接していく必要がある。」という感想が聞かれた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	アンケートによると、「どの研修でも新しい知見を得られた」「学校の教育活動に生かせる」等、肯定的な回答の割合は98%を超えており、性に関する正しい認識や学校での対応に関する知識への理解には一定の成果がある。また、動画研修等を取り入れ、受講しやすいよう配慮できた。今後も、学校現場のニーズを捉えながら、お互いが多様性を理解し、安心して過ごせる学校づくりを推進するための研修を企画、運営していく。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	62
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-1-1	審議会等への女性の参画促進						
事業名	女性登用率の向上促進							
担当	人権・共生社会推進課							
事業概要	市の施策・方針決定過程への女性の参画を推進するため、本市の審議会等への女性の参画を進める「女性登用計画」を策定し、計画的に登用を進める。また、様々な分野で活躍する女性を登録した「松山市女性人財情報リスト」の充実を行う。							
数値目標	女性登用率	R5	50 %	R6	50 %	R7	50 %	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	各課等が委員を委嘱する際に市民生活課を合議先として入れてもらい、登用率の進捗状況を随時確認した。登用率が40%に達していない審議会等については、委嘱の前に事前協議を行い、理由や今後の方針などについて協議した。 女性人財リストの充実に努め、女性の人選に対して希望があった課に提供した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市全体でみると女性登用率は高くなったが、審議会によっては人材不足等によりいまだ低い数値のところもある。各課等の取組により、女性登用率がさらに向上し、過去最高を更新した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	女性登用率	46.5 %	93%
-------------------------	-------	--------	-----

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	63
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進						
事業名	市女性職員の職域拡大および管理職の登用促進							
担当	人事課							
事業概要	定期人事異動で女性職員の職域拡大を引き続き実施するとともに、女性職員の管理職登用の促進に努める。							
数値目標	管理職(課長級以上)に占める女性職員の割合の向上	R5	12 %以上	R6	12 %以上	R7	12 %以上	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	・定期人事異動における女性職員の職域拡大について検討を実施 ・女性職員向けキャリアデザイン研修を実施(令和5年度参加人数:23名(教職員3名含む)) ・自治大学校地方公務員女性幹部養成支援プログラムに女性職員を派遣(令和5年度1名) ・女性登用に対する意識改革と、女性の力が十分に発揮できる職場風土の醸成、男女ともに活躍できる組織づくりのため、女性活躍に関する研修を新任課長級職員向けに実施
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、市全体の男女共同参画の取組みを推し進めた。 ・各研修で受講後アンケートを実施し、受講者の声を次年度の事業改善に反映させた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	管理職(課長級以上)に占める女性職員の割合の向上	11.2 %	93%
-------------------------	--------------------------	--------	-----

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	64
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	インターンシップ及び市役所業務説明会等の実施			
担当	人事課			
事業概要	多様な人材を確保するため、インターンシップや業務説明会を通じて、広く学生に対して市行政についての理解を深める機会を提供する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	多様な人材を確保するため、インターンシップでは、昨年度に引き続き、技術職向けのコースを拡充するなどして実施した。また、業務説明会をオンライン開催するとともに、対面でも開催し、学生等の多様なニーズに対応できる方法で、広く市政情報や業務内容等についての理解を深める機会を提供した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	近年、採用試験の申込者が減少傾向であり、技術職を中心に採用予定人数を確保できていないため、松山市役所で働くことに関して興味を持っていただく機会を増やす必要がある。インターンシップについては、県内外を問わず多くの学生に参加いただき、松山市役所業務への理解を深める機会を提供することができた。業務説明会については、オンライン開催により遠方に住む学生等に対しても広く周知できた。また、対面開催では、松山市に興味がある学生等に若手職員との交流の場を提供し、業務内容に加えてやりがいや働き方など、学生等が知りたい情報を提供できた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	65
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	女性活躍推進に関する特定事業主行動計画の推進			
担当	人事課			
事業概要	女性活躍推進法に基づいた特定事業主行動計画を策定し、女性職員の活躍推進に向けた取り組みを行う。行動計画に沿って取り組むことで、女性職員だけでなく、男性職員にとっても働きやすく、働き甲斐のある職場環境の構築を目指し、組織力の強化を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	松山市特定事業主行動計画に基づき、すべての職員が働きやすく働きがいのある職場づくりを推し進めた。 令和5年度の主な新たな取組は下記のとおり。 ・テレワーク推進のため、貸出用専用端末に加え、自治体テレワークシステムを本格導入した。 ・育児休業取得期間の検討や休業中の生活設計等に役立つよう、育児休業期間の収入の状況を計算できるシートを提供した。 ・愛媛県の「ひめボス宣言」に参加し、「ひめボス宣言事業所」として認証を受けた。 ・昇任試験の受験資格を見直し、育児休業期間中の昇任試験を受験可能に変更した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 4点	80%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、松山市特定事業主行動計画に基づき、すべての職員が働きやすく働きがいのある職場づくりを推し進めた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	66
重点目標	3-1	市の政策・方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-1-2	管理監督者への女性の登用促進		
事業名	男女共同参画に関する研修制度の充実			
担当	人事課			
事業概要	女性の活躍推進や人権に関する研修を実施する。また、出産・育児支援説明会を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	・女性職員向けキャリアデザイン研修を実施(令和5年度参加人数:23名(教職員3名含む)) ・自治大学校地方公務員女性幹部養成支援プログラムに女性職員を派遣(令和5年度1名) ・女性登用に対する意識改革と、女性の力が十分に発揮できる職場風土の醸成、男女ともに活躍できる組織づくりのため、女性活躍に関する研修を新任課長級職員向けに実施 ・各階層別研修で人権に関する講話を実施 ・出産支援育児説明会を開催(令和5年7月:11名申込、令和6年1月:28名申込)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・上記取組は内部で情報共有したほか市HPでも公表し、市全体の男女共同参画の取組みを推し進めた。 ・各研修で受講後アンケートを実施し、受講者の声を次年度の事業改善に反映させた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	67(131)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進						
事業名	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業							
担当	市民防災安全課							
事業概要	産官学民が連携し、小学校から高齢者まで切れ目なく防災教育を行い、災害に強い人づくり・まちづくりを行う。 男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を進め、誰もが住みやすいまちを目指す。							
数値目標	男女共同参画をはじめ、多様な視点での 防災教育を実施する。	R5	80 回	R6	80 回	R7	80 回	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	小・中・高校生で結成されているジュニア防災リーダークラブでは、発足式を始め、工事現場の見学会や防災まち歩き、防災キャンプなど、年間を通して様々な防災教育を行った。 マイ・タイムラインの普及で風水害での逃げ遅れゼロを目指す「逃げ遅れゼロプロジェクト」では、デジタル版マイ・タイムラインの運用を開始するとともに、松山市立の中学1年生約4,000人に対してWeb版マイ・タイムライン作成授業を実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	ジュニア防災リーダークラブでは、14回のイベントを実施。延べ約440人が参加し、防災の知識や意識を深めることができた。 デジタル版マイ・タイムラインについて、男女問わず、全ての市立中学1年生に授業を実施することで、逃げ遅れをゼロにするための意識を持たせるとともに、防災の知識を深めることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	94 回	118%
-------------------------	------------------------------	------	------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	68
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進						
事業名	女性の活躍推進(ジョカツ)							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	各方面で活躍する女性リーダーの育成及びネットワークづくりを行うとともに、ロールモデルや取り組みを紹介するなど女性の活躍推進(ジョカツ)の機運醸成を図る。							
数値目標	ジョカツ関連講座等の開催回数		R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	「はたらく女性応援講座」(全3回)では、女性が、キャリアの面で障壁を感じたり、家族を優先して自分自身のことを後回しにしてしまうといった困難や悩みの解消に向けて、松山市で活躍中のロールモデルとなる女性を招聘し、講演いただいた。また、講演と合わせてグループトークを行うなど、自分自身が望む働き方を考えることで、人生を切り開くための選択肢を増やすような行動のきっかけになる時間を提供した(来場参加45人、オンライン参加10名、録画配信76回)。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	参加人数を増やし、若い世代の参加も引き続き促すために、SNSを活用した広報活動に取り組んでいく。 松山で活躍する女性(経営者、NPO代表、起業した方)を講師として招聘することで、女性リーダーのロールモデルを提示することができた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	ジョカツ関連講座等の開催回数	3 回	300%
-----------------------------	----------------	-----	------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	69
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進						
事業名	人材育成に関する講座							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	男女共同参画について基本的な知識を有し、家庭・地域・職場など様々な場で、男女共同参画の視点を持って活動することができる人材を育成するために講座を開催する。							
数値目標	参加人数	R5	200 人	R6	200 人	R7	200 人	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	・連続講座「はたらく女性応援講座」(全3回・5～6月):(来場参加45人、オンライン参加10名、録画配信76回)。 ・公開講座「心をくじく『駄言』は、暮らしの中にあふれている! ～『#駄言辞典』から考える そのとき、あなたはどうか対応する? ～」(10月):【第1部】来場参加46名、オンライン参加8名、録画配信156回【第2部】来場参加17名
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「はたらく女性応援講座」(全3回)では、女性がキャリアの面で障壁を感じたり、家族を優先して自分自身のことを後回しにしてしまうといった困難や悩みの解消に向けて、松山市で活躍中のロールモデルとなる女性を招聘し、講演いただいた。講演と合わせてグルーブトークを行うなど、自分自身が望む働き方を考えることで、人生を切り開くための選択肢を増やすような行動のきっかけになる時間を提供した。 公開講座では、第1部の講演でアンコンシャス・バイアスの解消やジェンダー平等についてわかりやすく学び、第2部ではグループに分かれて参加者同士で身近なアンコンシャス・バイアスについて話し合った。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	358 人	179%
-------------------------	------	-------	------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	70(129)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進						
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)							
担当	地域消防推進課							
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。							
数値目標	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	R5	37 地区	R6	37 地区	R7	37 地区	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	令和5年度中に松山市内の39地区すべてで地域の訓練への参加や防災研修会などを実施した。そのほか、女性の視点を活かした避難所運営訓練や炊き出し訓練等も積極的に実施し、非常事態に備えている。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブへ出向き、紙芝居などを利用して防火防災教育を行うなどの啓発活動を行っている。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	参加人数を増やし、若い世代の参加も引き続き促すために、積極的な広報活動に取り組んでいく。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	39 地区	105%
-----------------------------	--------------------------------------	-------	------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	71(132)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	防災ひとづくり地域創生事業			
担当	市民防災安全課			
事業概要	大学生防災士の養成や「防災リーダークラブ」の活動支援を行うことで、若い世代の防災リーダー育成を図る。また、「防災」を通じて大学生と地域や地元企業をつなげることで、地域の活性化を目指す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	愛媛大学と連携し、短期集中講義「環境防災学」を実施し、大学生の防災士を養成するとともに、防災に関する知識を向上させる。 防災リーダークラブについて、学校や地域に対する防災活動を随時支援する。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	環境防災学では125人が防災士資格に合格し、大学生防災士を養成することができた。 防災リーダークラブの防災活動は計46回実施し、学校や地域での防災力の向上に貢献した。 環境防災学の受講者に対してアンケートや意見聴取はできていないが、防災リーダークラブ員には今後の方針等、意見を交換する場を設けている。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	72(154)
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	男性の家事・育児・介護への参画、親子対象講座、高齢者の社会参加の促進等、対象を明確にし、さまざまなテーマ設定で講座を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「わたし流生き方セミナー」(4月):60名 「COMSメンズ・キッチン」(全3回・7月～11月):延べ参加人数47名 「親子で学ぼう！女の子の未来をひらくサイエンス教室」(8月):40名(親子20組) 「ママのHappyが子どものHappy！」(全3回・9～10月):延べ参加人数61名 「暮らしのスキルアップ講座」(全2回・11～12月):延べ参加人数119名
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。 ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	73
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	地域における男女共同参画の意識啓発			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	女性の様々な生き方や男女共同参画の視点で作られた映像作品を上映したり、各種催事に出展したりすることで、女性の能力活用や男女共同参画についての意識啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	・県民大会や人権啓発フェスティバルといった県/市主催の催事に参加し、パネル展示を行った(2回)。 ・愛媛大学附属高等学校にて開催された「国際会議 ESD Youth Summit 2023」にて、パネル展示を行った(1回)。 ・「夏休み映画祭」(第1週)では、「女性是指揮者になれない」と言われた時代に、教官からのセクハラや、女性指揮者への激しいバッシングなど、いくつもの逆境にも負けなかった、実在する女性指揮者の半生を描いた作品を上映した(164人)。 ・「夏休み映画祭」(第2週)では、親子向け作品を上映し、併せて「認定絵本士」の資格を持つ松山東雲大学の学生によるおはなし会を実施した(198人)。 ・「夏休み映画祭」(第3週)では、血のつながらない親子の絆と愛情をテーマにした映画を上映した(186人)。 ・コムズフェスティバル映画祭では、経験の浅い女性スタッフたちで構成されたチームが、アジア初の火星探査プロジェクトを成功させた、実話に基づく作品を上映した(173人)。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・催事の出展により、当センターの取組を知らない市民に向けて事業の周知を図ることができた。 ・映画上映会のアンケートでは、「女性が軽視されている中、自分の信念を行動に示す努力に感銘を受けました。」など、映画の内容から、男女共同参画について考えていただくことができた。また、未就学児向けの映画上映会では、会場設営や企画を工夫し、多くの親子連れに気軽に参加していただくことができた。 ・パネル展示の出展に加えて、今後は、各種SNSを活用した意識啓発を内容とする情報発信も積極的に行っていく。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	74
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-1	女性リーダーの育成と方針決定過程への女性の参画の拡大促進		
事業名	まつやま農業者セミナー			
担当	農業委員会事務局			
事業概要	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	女性の感性を活かした魅力ある農村作りに貢献できる環境整備を行うため、家族経営協定を締結した農家及び農業委員・関係機関を軸とした声掛けをし、男女農業者の交流、意見交換の場として、まつやま農業者セミナーを開催する。 【日 時】令和5年10月16日(月)7:30～16:15 【場 所】今治市上浦町瀬戸、今治市大三島町宮浦 【内 容】①視察:柑橘加工販売「リモーネ」店舗見学 【内 容】②視察:「しまなみイノシシ活用隊」の取り組みについて 【参加者】14人
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・家族経営協定を通して男女がとまに対等な立場で話し合い、農業経営の合理化や、今度の農業経営の更なる発展を図り、家族経営協定締結者間の情報交換や交流が深められた。 ・若年層の参加者が少ないので、一層の啓発や実施方法の見直し等が必要である。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	75
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-2	地域活動への参画促進						
事業名	地域のまちづくりへの女性参画促進							
担当	まちづくり推進課							
事業概要	「まちづくり協議会」では、様々な地域団体や企業、NPOなどの多様な主体が集まり、地域のまちづくりに関する話し合いや取り組みを行っている。今後、地域のまちづくりを一層充実したものにしていくためには、さらなる女性の参画が不可欠である。地域のまちづくりを支援する観点から、各地域で女性が参画しやすい環境づくりに取り組む。							
数値目標	「まちづくり講座」の開催など、まちづくりに関わる女性の活動支援につながる機会の提供		R5	2 回以上	R6	2 回以上	R7	2 回以上

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	子育て世代や若い世代との交流をテーマに、5月に地域力パワーアップ大会を、2月にまちづくり講座を開催し、多くの女性の役員や事務員が参加した。また、通年で、各まちづくり協議会のほとんどで雇用している女性事務員を窓口にも、協議会との連絡調整を図り、運営支援に取り組んだ。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・ほとんどの協議会で女性の事務員を雇用しており、協議会の運営に関わっている。一方、各協議会の役員にも、女性の役員が活躍しているが、その比率は協議会によって差がある。 ・担い手不足解消の一つの方策として、協議会における女性参画推進を啓発していく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	「まちづくり講座」の開催など、まちづくりに関わる女性の活動支援につながる機会の提供	2 回	100%
-------------------------	---	-----	------

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～					通番	76
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大						
実行項目	3-2-3	地域で活動する団体等の支援・連携促進						
事業名	市民活動団体等に対する支援・連携促進							
担当	まちづくり推進課							
事業概要	市内全域において公益活動を行っている、NPO等市民活動各団体に対し、支援を行い、連携を促進する。							
数値目標			R5		R6		R7	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	NPOへの補助審査会では、多くの女性から成る委員の審査によって、多様な意見が反映された。また、市民活動に参加するNPOでも、多くの女性役員が参加しており多角的な視点を取り入れた取組みが見られた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	市民活動を推進するNPOにおいて、女性が多く参加する団体が増えた結果、女性のキャリア支援や子育て支援の取組が活発化した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	3	方針決定過程への女性の参画拡大 ～多様な意見が反映される社会を目指します～	通番	77
重点目標	3-2	地域・職場の方針決定過程への女性の参画拡大		
実行項目	3-2-4	政治分野での男女共同参画推進		
事業名	情報収集、環境整備等の実施			
担当	議会事務局			
事業概要	政治分野における男女共同参画の推進に関する情報の収集等を行い、必要に応じて男女共同参画を推進するための環境整備等に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	国の動向を注視し、情報収集を行った。 ・【参考情報】(令和5年9月)小倉女性活躍担当大臣・内閣府特命担当大臣(男女共同参画)から、各政党幹事長等に対し、候補者に占める女性の割合が高まるよう、数値目標の設定や積極的改善措置(ポジティブ・アクション)の導入等の自主的な取組について要請。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	1点中 1点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	環境整備の一環として、男女問わず育児により会議に出席できないとき又は遅参するとき、また、出産のため会議に出席できないときの規則を令和5年度以前に制定しており、環境整備を進めている。 また、政治分野における男女共同参画社会の推進に関する情報収集を行い、議会事務局内で情報共有を行った。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	78(97,102)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-1	男性中心型労働慣行の見直し					
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	48 人	R6	48 人	R7	48 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は、COMSメンズ・キッチンと題し、男性を対象とする料理教室を3回開催し、延べ47名が参加した。家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえよう工夫した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認して作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。参加者アンケートでは、参加者の9割が「参加して(大変)良かった」と回答し、「自宅でも息子や妻に作りたいと思った」「はじめてあった人と協力してたのしかった」といった回答も多く得ることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	47 人	98%
-------------------------	------	------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～					通番	79(85)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し						
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保						
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	女性の登用・職域拡大等女性の活躍推進、男性の育児休業取得促進等ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。							
数値目標	認証企業数	R5	87 企業	R6	88 企業	R7	91 企業	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度末時点で102事業所を認証している。 ホームページ等で認証事業所の取組状況を紹介するほか、認証事業所から若手社員を派遣していただき、若者のライフデザイン支援事業の交流会で大学生に仕事と家庭の両立等について話す機会を作っているため、大学生のニーズに合った事業所を紹介できるよう、新規事業所の獲得に努めた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「まどんな応援宣言事業所認証制度」の認知度の向上と認証事業所数の増加を目指し、令和5年度から、松山市と松山市男女共同参画推進財団の共同で認証する方式に改めた結果、認証事業所数の大幅な増加となった。 しかしながら、まだ認知度は低く、制度の周知に努めてもなかなか応募につながらないため、個別のアプローチや制度の見直しが必要である。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	認証企業数	102 企業	117%
-------------------------	-------	--------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	80(86)	
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し						
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保						
事業名	まどんな応援企業の周知啓発							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。							
数値目標	若年層への周知回数		R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所(102事業所)の取組状況を紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」では、松山大学の学生(17名)を対象に、まどんな応援宣言事業所の紹介やロールモデルとなる社員(4事業所)との交流会を実施し、男女共同参画に積極的な企業を知る機会をつくった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コムズ主催事業や情報誌において、まどんな応援宣言事業所の周知啓発をより積極的に行い、認知度の向上をめざしていく。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	若年層への周知回数	1 回	100%
-------------------------	-----------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	81
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保					
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及活動(企業・事業者・団体等)						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	企業が子育て世代の仕事と育児の両立を支援するとともに、多様な人材の活用を進め、効率的で生産性の高い職場を実現できるよう、企業等を対象とした講座やワークショップを行い、ワーク・ライフ・バランスの積極的推進について呼びかける。						
数値目標	企業等への講師派遣回数	R5	7 回	R6	7 回	R7	7 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	事業所が希望するテーマに応える形で講師を派遣した(6回)。 男性の家事・育児参画や職場でパフォーマンスを上げる片付け術のほか、アンコンシャス・バイアス、LGBTQ+をテーマとする講座を開催し、それぞれの講座の中でワークライフ・バランスについても触れ、意識啓発に努めた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	令和5年度は6事業所から出張講座の依頼があり、「男女共同参画について考える～松山市の現状と男性の家事・育児参画～」職場でパフォーマンスを上げる片付け術」「男女共同参画とアンコンシャス・バイアス」など様々なテーマで実施し、市民ニーズにこたえることができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	企業等への講師派遣回数	6 回	86%
-------------------------	-------------	-----	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	82(38)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	企業内人権教育担当者研修講座【再掲】			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	企業等には、公正公平な採用基準の徹底等をはじめ、企業活動を行う上で直面する人権に関わるさまざまな課題に対し、企業の社会的責任が求められていることから、市内の中小企業等の経営者又は従業員等を対象に研修講座を実施し、企業内における人権意識の高揚を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	以下のとおり、人権啓発講座(6回)を実施した。 【第1回】職場のハラスメント 【第2回】企業の社会的責任・企業倫理～SDGs・ビジネスと人権の実践～ 【第3回】個人情報保護と人権 【第4回】障がい者雇用と人権 【第5回】性的マイノリティの基本的理解と企業 【第6回】公正な採用選考について
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	受講者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。 第5回では、性的マイノリティの基本的理解と企業としての支援についてテーマとして取り上げ、男女共同参画や性別による差別・偏見に対する意識啓発を図った。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	83(101)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-2	男女の均等な雇用の機会と待遇の確保		
事業名	男女雇用機会均等法等の周知・啓発			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	・男女雇用機会均等法等に関する周知を「松山しごと創造センター」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。 ・松山市HP等で国が実施する両立支援助成の案内を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	労働局の男女雇用機会均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を課内に設置したほか、ホームページ等で雇用に関する支援・施策情報を発信し、周知・啓発を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	啓発用チラシ等を設置し、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。 県市が連携して就労支援を実施しており、今後も雇用関連の啓発や案内を県市が連携して実施していく必要がある。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	84
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	メンターの育成(庁内ワーキング・グループ)			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	実施計画の事業を担当する課の若手職員で構成される「庁内ワーキング・グループ」メンバー自らが実践者(ロールモデル)となり、また、将来の良き助言者・指導者(メンター)となれるよう男女共同参画に関する学習機会を提供する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	2月にワーキンググループ研修会を実施した。コムズの館長を講師に迎え、男女共同参画の現状についての講演を行うとともに、第4次男女共同参画基本計画など、市役所内での男女共同参画の推進状況について、説明を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	ワーキンググループのメンバーでも、自分の課のどの事業が男女共同参画推進と関係しているのか理解している人は少なく、意識の醸成が十分でないと感じるため、担当課として周知啓発等の方法を工夫しなければならない。研修後のアンケートでは、男女共同参画について理解できたとする回答が多くあり、還元研修を行った割合も85%であり、更なる広がりが期待できる。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	85(79)			
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進					
事業名	「まどんな応援企業宣言」認証制度【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	女性の登用・職域拡大等女性の活躍推進、男性の育児休業取得促進等ワーク・ライフ・バランスや男女がともに働きやすい職場づくりに積極的に取り組むことを宣言した企業に対し「まどんな応援企業宣言」認証を行い、取組へのサポートを行う。						
数値目標	認証企業数	R5	87 企業	R6	88 企業	R7	91 企業

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度末時点で102事業所を認証している。 ホームページ等で認証事業所の取組状況を紹介するほか、認証事業所から若手社員を派遣していただき、若者のライフデザイン支援事業の交流会で大学生に仕事と家庭の両立等について話す機会を作っているため、大学生のニーズに合った事業所を紹介できるよう、新規事業所の獲得に努めた。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「まどんな応援宣言事業所認証制度」の認知度の向上と認証事業所数の増加を目指し、令和5年度から、松山市と松山市男女共同参画推進財団の共同で認証する方式に改めた結果、認証事業所数の大幅な増加となった。 しかしながら、まだ認知度は低く、制度の周知に努めてもなかなか応募につながらないため、個別のアプローチや制度の見直しが必要である。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	認証企業数	102 企業	117%
-------------------------	-------	--------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～					通番	86(80)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し						
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進						
事業名	まどんな応援企業の周知啓発【再掲】							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	まどんな応援宣言企業の認知度を向上させ、市民への認知度を向上させるため、特に若い世代への啓発を積極的に行う。							
数値目標	若年層への周知回数		R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	ホームページ等で認証事業所(102事業所)の取組状況を紹介するとともに、「若者のライフデザイン支援事業」において、松山大学の学生(17名)を対象に、まどんな応援宣言事業所の紹介やロールモデルとなる社員(4事業所)との交流会を実施し、男女共同参画に積極的な企業を知る機会をつくった。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コムズ主催事業や情報誌において、まどんな応援宣言事業所の周知啓発をより積極的に行い、認知度の向上をめざしていく。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	若年層への周知回数	1 回	100%
-------------------------	-----------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	87
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進		
事業名	ワーク・ライフ・バランスの普及啓発(市民)			
担当	男女共同参画推進センター			
事業概要	市民に対し、ワーク・ライフ・バランスに関する啓発活動を行い、必要性やメリット等について周知を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	・「はたらく女性応援講座」(全3回)では、女性がキャリアの面で障壁を感じたり、仕事と家庭の両立に関する困難や悩みの解消に向けて、松山市で活躍中のロールモデルとなる女性を招聘し、ご講演いただいた(来場参加45人、オンライン参加10名、録画配信76回)。 ・「COMSメンズ・キッチン」では、家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的に、初心者向け料理講座(15名)、コーヒー講座(18名)、初心者向けスイーツ講座(14名)を実施した。 ・「暮らしのスキルアップ講座」では、コロナ禍によりライフスタイルにも変化が表れてきている中、「片付け」(72名)や「多肉植物の楽しみ方」(47名)をとおり、知識や技術を身につけることで充実した生活を送る機会を提供した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)」についての理解が進む中、市民ニーズに応えることのできる講座企画をより一層進めていく必要がある。 テーマや対象を工夫し、女性、男性それぞれが家事参画やプライベートの充実を図ることに寄与できた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	88(100,155)
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-3	仕事と生活の調和(ワーク・ライフ・バランス)の普及促進					
事業名	若者のライフデザイン支援事業						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、主に大学生に向けた「ライフデザインをテーマとしたセミナー」を市内の大学で開催した。 東京大学経済学研究科教授の山口慎太郎氏を講師として招聘し、「家庭内のジェンダー平等と日本経済」と題して基調講演を開催し、会場となった松山大学の学生のほか、オンラインでは愛媛大学、聖カタリナ大学・聖カタリナ短期大学部、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の学生も含め61名が受講した。 また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」の若手職員が登壇する交流会を実施し、松山大学の学生(17名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参考になったと答えた受講者の割合は、基調講演では82.5%、交流会では87.5%であり、特に交流会では「生の意見を聞けたことが、貴重な経験だった」という感想もあるなど、交流会の充実が重要であると考えられる。 結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を通じて、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することのできる機会を提供することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1 回	100%
-------------------------	----------------------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	89
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進					
事業名	家族経営協定の推進						
担当	農業委員会事務局						
事業概要	農業の担い手である女性の役割分担の認識を図るとともに、男女のお互いがパートナーであることを尊重しあうために、家庭内の役割を分担し、労働時間、家族行事等の協定(家族経営協定)の締結を推進する。						
数値目標	締結数	R5	10 件	R6	10 件	R7	10 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	家族経営協定締結件数 6件【累計締結数 269件】
----------------	---------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	締結した農業者にとっては、家庭内の役割分担等を考える機会となり、女性の経営参画の推進につながっていると考え。昨年度に比べ締結数は増加したが、目標の10件が達成できるよう、広く周知していく方法等を検討していく。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	締結数	6 件	60%
-----------------------------	-----	-----	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	90
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進		
事業名	担い手総合支援事業			
担当	農林水産振興課			
事業概要	農業の担い手を確保・育成するため、JAが実施する就農候補者への栽培技術や経営管理の研修の経費を補助するほか、新規就農者の経営定着や認定農業者の経営発展に必要な機械・施設の導入に対して補助金を交付し支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	JAが実施する就農候補者研修にかかる経費や新規就農者が導入する農業機械・施設に対して補助を行った。就農候補者研修については、えひめ中央農業協同組合は27名の研修生を受け入れており、そのうち6名は女性研修生であった。また、農業機械・施設整備については8名中1名は女性農業者が活用し、次世代を担う農業者への支援と確保に取り組むことができた。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	2点中 2点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	対象外
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	対象外
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	【課題】 新規就農する女性の割合は男性に比べまだ低い状況である。 JA等の関係機関と連携しながら現状把握と農業への参入障壁の引き下げに努めるとともに、女性の割合増加に取り組む必要がある。 【成果】 就農候補者研修の女性受講者はH31年度は3名、令和2・3年度は5名、令和4年度は7名、令和5年度は6名と一定数を確保できている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	91
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-4	農業分野での女性の経営参画の促進		
事業名	松山市農村生活研究グループ連絡協議会活動補助金			
担当	農水振興課(農業指導センター)			
事業概要	農村の女性が健康で充実した農業・農村生活の担い手となり、農業知識や技術の習得と消費者との交流などで情報交換に努め、地域農業・農村の維持・発展と地域活性化を図るため、「松山市農村生活研究グループ連絡協議会」へ補助金を交付する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	役員会の開催2回、研修会や会員同士の交流会4回、郷土料理の伝承事業2回など、農村の女性の知識向上や、消費者との交流、学生への技術伝承など様々な活動を通して、農村女性の活躍推進を図った。 ※松山市農村生活研究グループ連絡協議会は、令和5年度末をもって解散したため、当事業も令和5年度をもって終了した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	①会員の研修会は、農家として役立つ野菜の基礎知識を夏野菜及び秋野菜について学び、収穫物を家庭の食卓に出すことで、野菜知識の家庭内共有が図られた。 ②消費者との交流では、郷土料理を料理人を目指す学生に実習を通じて伝承し、農村における女性の役割や料理の奥深さを学生に伝えることができた。また、地域の特産物の収穫物を利用した料理を子育て世帯に伝えることで、消費者の家庭に郷土料理などの普及が図られた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	92
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-5	職業能力の開発支援		
事業名	松山市人材育成事業補助金事業			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的として研修等を受講する際に、その費用の一部を補助する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	市内の中小企業等が従事者のスキルアップを目的に研修等を受講する際に、受講料等の一部を補助した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	性別や年齢等に捉われず、幅広く実施することができた。
----------------------------------	----------------------------

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	93
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し					
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応					
事業名	女性の起業支援						
担当	ふるさと納税・経営支援課						
事業概要	松山しごと創造センターで、女性を対象とした起業の個別相談やセミナーを実施し、総合戦略に掲げる基本目標「魅力ある仕事と職場をつくる」の数値目標でもある事業所の増加に繋げる。						
数値目標	松山しごと創造センターの支援を受けて創業した件数	R5	13 件	R6	13 件	R7	13 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	専門家による個別相談や創業に関するセミナーを開催するなど、創業者向けの支援を行った。また、女性の事業者同士が交流できるイベントを開催し、女性の起業機会の創出につなげた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	今後も引き続き、個別相談や創業者向けのセミナーを開催するなどして、創業支援を実施したい。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	松山しごと創造センターの支援を受けて創業した件数	15 件	115%
-------------------------	--------------------------	------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	94
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	高齢者雇用対策事業			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	働く意欲と能力のある高齢者が働き続けられるよう支援するとともに、中小企業の人材確保を支援していくため、松山シルバー人材センターで高齢者就労の総合相談支援を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「高齢者就労総合相談窓口」を開設し、働く意欲と能力のある高齢者がその能力を発揮して働き続けられるよう、従来の臨時かつ短期の就業だけでなく、常用雇用も含めた求人開拓から相談、求職者と事業者のニーズに応じたマッチング支援に至るまでの効果的な相談支援を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	総合的就労相談窓口として、就職希望者一人ひとりの状況や適性に応じた就労先とのマッチングを行うなど、きめ細かな支援を実施したことで、より多くの高齢者の就労につなげることができた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	95
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	女性の再就職支援			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	結婚や出産、育児などで離職し、再就職に対して様々な不安を抱えている女性の労働参加及び掘り起こしに向けて、愛媛県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workと連携し、求職者と企業の両面から女性の活躍促進に取り組む。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	就労支援を県市が連携して実施しており、県の就労支援施設であるジョブカフェ愛workで個別相談を実施し女性の就職を支援した。また、子育てママのお仕事相談として、市内の5児童館・センターに就労支援員を派遣し、女性の就労相談に対応した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	県市が連携して就労支援に取り組み、ジョブカフェ愛workで支援した169名の女性の就職が決定した。また、子育てママのお仕事相談で再就職に対して不安を抱えている女性の相談に対応し、不安を軽減することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	96
重点目標	4-1	雇用等の分野での男女平等と働き方の見直し		
実行項目	4-1-6	多様な就業ニーズへの対応		
事業名	松山市テレワーク在宅就労の促進			
担当	企業立地・産業創出課			
事業概要	テレワークによる在宅就労者として障害者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進する。※テレワークとは、ICT(情報通信技術)を活用した、場所や時間にとらわれない柔軟な働き方を言う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	テレワークによる在宅就労者としてひとり親家庭の親や障がい者などの就労困難者を雇用した松山市内の事業所に「就労奨励金」を交付するとともに、その指定事業所にテレワークによる在宅業務を発注した全国の事業所に対し「発注奨励金」を交付し、就労機会の創出及びテレワーク市場の拡大を促進した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	コロナ禍によってテレワークは広く普及し、事業開始時に比べて環境が大きく変化した。今後、さらなる多様な人材の活用や働き方推進のため、現状を見極め事業を改善することが求められている。 本事業の実施により、これまでに300名の雇用が生まれた。市外企業が市内指定事業所に発注した金額も4.8億を超えており、外貨獲得につながっている。 本事業はテレワーク推進のための自治体独自の取り組みを進めている事例として厚生労働省や総務省(四国総合通信局)にも取り上げられるなど、全国的にも珍しい本市独自の取り組みである。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	97(78,102)	
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進						
実行項目	4-2-1	男性にとってのワーク・ライフ・バランス						
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。							
数値目標	参加人数		R5	48 人	R6	48 人	R7	48 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は、COMSメンズ・キッチンと題し、男性を対象とする料理教室を3回開催し、延べ47名が参加した。家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえよう工夫した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。参加者アンケートでは、参加者の9割が「参加して(大変)良かった」と回答し、「自宅でも息子や妻に作りたいと思った」「はじめてあった人と協力してたのしかった」といった回答も多く得ることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	47 人	98%
-------------------------	------	------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	98(31)
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-1	男性にとってのワーク・ライフ・バランス					
事業名	自殺対策【再掲】						
担当	保健予防課						
事業概要	自殺の背景には、健康問題、経済・生活問題、家庭問題等、様々な社会的要因が複雑に関係していることから、市民サービスを行う課(48課50人程度)の担当者が、本市における自殺の現状や自殺対策について正しい知識を習得するとともに、各課の相談窓口等の共通認識を図り、庁内ネットワークを構築することで、自殺対策を推進する。						
数値目標	会議開催数	R5	2 回	R6	2 回	R7	2 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	自殺対策庁内担当者会を2回(10月、12月)実施し、延べ76名の担当職員が参加した。 1回目(10月)では、「松山市の自殺の現状と自殺対策の取り組みについて」の講話及び「自殺対策に向けた庁内の連携強化について」のグループワークを実施し、各課での市民対応や事業の振り返りと課題の抽出を行った。 2回目(12月)では、NPO法人こころ塾の村松氏による講演「ゲートキーパーとして大切な事とセルフケアについて」及び「生きることの包括支援マップから考える自殺対策事業の実現について」のグループワークを実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	受講後のアンケート結果では、今回の内容が「参考になった」「理解出来た」との回答が100%であった。 自殺対策については、男性・女性が「男性・女性としてあるべき姿」に縛られ、悩みや問題を一人で抱え込まないように、男女が相互に協力し、周囲の方が「ゲートキーパー」としてサポートできるよう、引き続き自殺対策庁内担当者会で周知啓発していきたい。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	会議開催数	2 回	100%
-----------------------------	-------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～					通番	99
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進						
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援						
事業名	市男性職員の育児休暇取得の促進							
担当	人事課							
事業概要	出産・育児支援説明会の開催や育休取得促進に係るリーフレット、パンフレットの配布を行い、男性の育児休暇の取得を促進する。							
数値目標	年間の出産・育児支援説明会の参加人数の増加	R5	40 人	R6	50 人	R7	60 人	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	出産育児支援説明会の開催(7月、1月)のほか、育児休暇シートプランの活用案内や育児休業中の収入等を計算できる「収入シミュレーションシート」の配布などを行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男性の育児休業取得に関する理解が深まり、取得率が向上した(R5実績:85.5%)
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	年間の出産・育児支援説明会の参加人数の増加	39 人	98%
-------------------------	-----------------------	------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	100(88,155)
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援					
事業名	若者のライフデザイン支援事業【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、主に大学生に向けた「ライフデザインをテーマとしたセミナー」を市内の大学で開催した。 東京大学経済学研究科教授の山口慎太郎氏を講師として招聘し、「家庭内のジェンダー平等と日本経済」と題して基調講演を開催し、会場となった松山大学の学生のほか、オンラインでは愛媛大学、聖カタリナ大学・聖カタリナ短期大学部、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の学生も含め61名が受講した。 また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」の若手職員が登壇する交流会を実施し、松山大学の学生(17名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参考になったと答えた受講者の割合は、基調講演では82.5%、交流会では87.5%であり、特に交流会では「生の意見を聞けたことが、貴重な経験だった」という感想もあるなど、交流会の充実が重要であると考えられる。 結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を通じて、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することのできる機会を提供することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1 回	100%
-------------------------	----------------------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	101(83)
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進		
実行項目	4-2-2	育児休業等取得への啓発・支援		
事業名	男女雇用機会均等法等の周知・啓発【再掲】			
担当	ふるさと納税・経営支援課			
事業概要	・男女雇用機会均等法等に関する周知を「松山しごと創造センター」のセミナー等における参加者に対して行う。 ・市内企業に勤める方から均等法に係る相談があった場合、労働局内雇用均等室の紹介を行う。 ・労働局の均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を、来訪者用に課内設置する。 ・松山市HP等で国が実施する両立支援助成の案内を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	労働局の男女雇用機会均等法や育児休業に関する啓発用チラシ等を課内に設置したほか、ホームページ等で雇用に関する支援・施策情報を発信し、周知・啓発を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	啓発用チラシ等を設置し、男女雇用機会均等法の周知・啓発を図ることができた。 県市が連携して就労支援を実施しており、今後も雇用関連の啓発や案内を県市が連携して実施していく必要がある。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	102(78,97)
重点目標	4-2	男性の家事・育児・介護等への参画推進					
実行項目	4-2-3	家事・育児・介護等の実践に向けた支援					
事業名	男性の生活的自立や家事参加等に関する関連講座【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	男性を対象に、生き方について考える機会を提供するとともに、家事・育児・介護への参画促進のための学習機会となる講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	48 人	R6	48 人	R7	48 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は、COMSメンズ・キッチンと題し、男性を対象とする料理教室を3回開催し、延べ47名が参加した。家事参画のきっかけづくりやプライベートの充実をはかることを目的とし、女性に比べ講座に出向く機会が少ないとされる男性に、気軽に参加してもらえよう工夫した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、男性の家事参画のきっかけとなるよう、男性が興味関心を持ちやすいテーマで、企画立案を行っていく。また、各回でグループワークを行い、参加者同士の交流ができたので、今後も当講座を通じて仕事や家庭以外での人とのつながりのきっかけづくりとなる内容にしていく。参加者アンケートでは、参加者の9割が「参加して(大変)良かった」と回答し、「自宅でも息子や妻に作りたいと思った」「はじめてあった人と協力してたのしかった」といった回答も多く得ることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	47 人	98%
-------------------------	------	------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	103(149)
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	休日子どもカレッジ推進事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	夏休み等の長期休暇中に大学の空きスペースなどを活用し、親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施する。						
数値目標	延べ利用者数	R5	2,800 人	R6	2,800 人	R7	2,800 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。 【実績】 ●松山大学 (実施主体 NPO法人ワークライフコラボ) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,518人 ●ハーモニープラザ (実施主体 NPO法人いよこコロザシ大学) 開設日数 50日 延べ利用者数:1,504人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施し、目標を達成することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	延べ利用者数	3022 人	108%
-------------------------	--------	--------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	104
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	子育てひろば等支援事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	地域子育て支援拠点事業(子育てひろば)、子ども食堂、地域子ども見守り事業を行う団体に対し、その活動の経費を助成する。						
数値目標	子育てひろば利用者数	R5	50,000 人	R6	50,000 人	R7	50,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	各地域で子育て家庭の交流の場を開設することにより、育児不安の解消、子育ての孤立化防止等を図ることができた。 【実績】 ・しののめ広場 たんぽぽ 延べ利用者数:3,404人 ・カタリナ子育て支援ひろば ぼけっと 延べ利用者数:4,508人 ・子育てひろば くーふぁん 延べ利用者数:6,982人 ・子育てひろば くりっぶ 延べ利用者数:8,365人 ・子育てひろば ToiToiToi 延べ利用者数:20,977人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き親子の交流の場や子育てに関する相談ができる場所が求められている。SNS(Instagramなど)やまつやまこども・子育てサイト「にこっと」(R6.11月に開設)を活用し情報発信を積極的に行う。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	子育てひろば利用者数	44236 人	88%
-------------------------	------------	---------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	105
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	児童クラブ運営事業						
担当	こどもえがお課						
事業概要	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図る。						
数値目標	入会児童数	R5	6,323 人	R6	6,439 人	R7	6,396 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図った。 【実績】 児童クラブ数 124クラブ 定員数 5,959人			
----------------	---	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	仕事などで昼間保護者がいない家庭の児童を放課後預かり、遊びや生活の場を提供することによって、児童の健全育成を図り、子育て環境の充実を図ることができた。		
----------------------------------	---	--	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	入会児童数	5680 人	90%
-----------------------------	-------	--------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	106(127)
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	地域子育て支援拠点事業(直営型)						
担当	こども相談課						
事業概要	主に乳幼児をもつ親と子どもが気軽に集う場所として「ほっとHOTひろば」を設置し、子育てへの負担感を緩和し、安心して子育てできるように、育児相談や子育てに関する情報提供のほか、講習などを行う。						
数値目標	年間利用者数	R5	2,500 人	R6	2,500 人	R7	2,500 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	主に乳幼児及びその保護者を対象に、親子の交流・集いの場を提供するとともに、子育て親子に対する相談援助を行った。また、令和5年度は育児講座「育児健康塾」を10回、グループカウンセリング「ほっとHOTタイム」を10回実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	多くの子育て親子の利用があり、令和5年度の年間利用者数は目標を上回る3,406人であった。 育児健康塾、ほっとHOTタイムなどを利用した方へのアンケートによると、 「普段なかなか相談できない専門医の話を聞くことができて良かった。」 「講師の先生の話をお聞きし、悩んでいるのは自分だけではないと思えた。」 「子育ての今後の見通しがついて良かった。」 などの意見があり、保護者の育児不安の軽減、孤立感の解消につながっていると考えられる。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	年間利用者数	3406 人	136%
-----------------------------	--------	--------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	107			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実					
事業名	待機児童ゼロに向けた取り組みと「松山市子ども・子育て支援事業計画」の進捗管理						
担当	保育・幼稚園課						
事業概要	既存の幼稚園からの認定こども園への移行や、基準を満たした上で、待機児童の多くを占める1,2歳児の受入れを強化する「待機児童対策・保育の質向上事業」及び、保育・幼稚園相談窓口で利用者支援を行うことなどにより、多様な保育サービスを提供し待機児童の解消に取り組む。また、教育・保育の利用、一時預かり事業、延長保育事業などの目標や方向性を示した「松山市子ども・子育て支援事業計画」の点検・評価を行うことで進捗管理を行う。						
数値目標	保育所等利用待機児童数	R5	0 人	R6	0 人	R7	0 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	公立直営園で紙おむつの定額使い放題サービス「紙おむつのサブスクサービス」の開始などで保育士の負担軽減を図ったり、私立幼稚園を認定こども園に移行し保育の受け皿確保に努めるなど、官民一体となって子どもの受け入れの拡充を進めた。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	保育定員が増加したことに加え、潜在保育士等を発掘するための保育士の魅力発信や、保育士の確保、負担軽減を図ることで人材確保に努めたことが、受入れ児童数を増やすことにつながった。幼稚園の預かり保育の利用や、認可外の保育施設含めた多くの施設が積極的に児童を受入れたこと等により、国定義の待機児童0人を継続できた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	保育所等利用待機児童数	0 人	100%
-----------------------------	-------------	-----	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	108	
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備						
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実						
事業名	小児救急医療確保事業							
担当	医事薬事課							
事業概要	本市の小児救急医療体制を長期安定的に維持するために、愛媛大学医学部の寄附講座、小児科新規開業促進補助金、小児研修医の育成に伴う実地研修、小児救急医療啓発出前講座を実施する。 ①愛媛大学医学部への寄附講座開設 ・急患医療センターの出務協力を得る外、小児科医の育成や小児医療に関する普及啓発を実施する。 ②小児科新規開業促進補助金 ・小児科医が市内に小児科を新規開業する場合に資金の一部を補助する。 ③小児研修医等の育成 ・松山赤十字病院及び愛媛大学医学部の臨床研修指導医が急患医療センターに出務する際、小児科研修医(2年次)の実地研修を実施する。 ④小児救急医療啓発出前講座の実施 ・ガイドブックを作成し、幼稚園・保育所等で、出前講座による救急医療の適正な利用等について啓発する。							
数値目標	一二三次救急の連携により24時間365日小児救急医療を受けることができる体制		R5	100 %	R6	100 %	R7	100 %

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	①愛媛大学医学部に寄附講座を開設し、小児科医の育成と急患医療センターへの出務医師の確保を行っていただいた。 ②令和5年度の小児科新規開業者は0件であった。 ③研修医として、愛媛大学附属病院と松山赤十字病院から合わせて延べ18名の医師の実地研修を実施できた。 ④小児救急医療啓発出前講座を10件開催し、延べ260人の方に啓発を行うことができた。その他、赤ちゃんセットにガイドブックを同梱し配布するなど、できる限り子を持つ親に配ることができるよう取り組みを行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	2点中 2点	100%
チェック欄		

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	全ての取り組みにおいて、性別等限定することなく事業を行っている。小児救急医療啓発出前講座についても、主に保育園等に出向き啓発を行っているが、男性の参加も見られるなど幅広く啓発を行うことができている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	一二三次救急の連携により24時間365日小児救急医療を受けることができる体制	100 %	100%
-------------------------	--	-------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	109
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て援助活動支援事業【ファミリー・サポート・センター事業(育児)】			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て援助活動支援事業は、子育てについて、援助を受けたい人(依頼会員)と行いたい人(提供会員)を会員として組織化し、相互援助を行う事業。提供会員の援助活動(保護者にかわり保育園の送り迎え等を行う等)が円滑に行われるように調整する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	広報紙や子育て情報サイト「カンガエルーカフェ」などでお知らせするとともに、令和5年度は里親制度普及啓発事業講演会にて参加者120名へのパンフレット配布や、提供会員になるための初級講習会の案内をSNSによる発信を行い、制度普及を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	提供会員・依頼会員の合計が1,074名となった。 提供会員については、退会8名に対し、新規加入30名となっており、22名増となっている。 核家族の増加や地域とのつながりの希薄化などを背景に、育児不安を抱えながら地域から孤立した子育て家庭が増えており、こうした育児不安の解消に、地域が持つこどもを育てる力に大きな期待が寄せられており、今後さらに会員数の増加を図る必要がある。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	110
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て応援券交付事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	愛媛県、市町及び県内紙おむつ生産企業との官民協働により、第2子以降の出生時に紙おむつ購入に係る経済的支援を行うため、子育て応援券(1,000円×50枚綴り)を交付する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	子どもが出生した世帯の情報を確認し、「愛顔っ子応援券」を未申請の世帯には手続きを促すなど、対象となる世帯に漏れなく支援が行き渡るように対応した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	適切に愛顔っ子応援券を交付したことで、多くの市民に利用してもらえた。引き続き適切な愛顔っ子応援券の交付に努める。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	111
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て家庭の送迎等支援			
担当	子育て支援課			
事業概要	子育て家庭が、子どもの送迎や預かりに利用できるサービス(ファミリー・サポート、イクじい・ばあばママサービス)に利用者補助を行うとともに、サービスの周知を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	子育て家庭がサービスを利用しやすいように、利用補助を行った。ファミリー・サポート・センター(育児)については、1か月あたり利用時間の2時間30分までを無料とし、イクじい・ばあばママサービスについては、1か月あたり利用時間の5時間までを半額とした。 各々の事業実施主体である(公財)男女共同参画推進財団・(公社)松山市シルバー人材センター補助金を支払い、利用者補助を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	こどもの送迎や預かり等の依頼に応えられる提供会員を増やす必要がある。 令和5年度の助成件数は5,318件で、子育て家庭がこどもの送迎や預かりサービスを利用する際の金銭的負担軽減に貢献した。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	112(14)
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育て短期支援事業【再掲】			
担当	子育て支援課			
事業概要	保護者が病気や仕事その他の理由により、家庭で児童を養育することが一時的に困難となる場合に、児童養護施設及びその他保護を適切に行うことができる施設又は里親宅において、7日以内で児童を預かる。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	緊急一時保護を愛媛母子生活支援センターと松山市小栗寮で1件ずつ行い、母子の安全を確保した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	・子育て短期支援事業での緊急一時保護を行うことで、母子を安全に保護することができた。 ・実施後に利用時の様子や今後の体制についての声(意見)や希望を伺っている。R6年度にアンケート調査を行い、事業について利用者の声を聞き取っている。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	113
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子育てに関する情報の発信			
担当	こどもえがお課			
事業概要	子育てに関する情報(保育園や幼稚園、認定こども園等の情報等)を収集し、子育て情報サイトや冊子で情報発信する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	松山市子育て情報サイトを適切に運営し、広く情報発信を行った。また、「まつやま子育て応援パンフレット」「松山市子育てマップ」を作成し、市役所内の関係各課窓口などで配布した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	サイトや冊子を使って子育てに関する様々な情報を集約することで、子育てと仕事の両立につながる支援やサポートなどの情報も広く周知することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	114
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	子ども医療助成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	子どもの医療費を助成することにより、子育て家庭の経済的負担の軽減と、子どもの病気の早期発見や治療を支援し、子育て環境の充実を目指す。 助成対象者:0歳から中学3年生18歳年度末までの子ども。 助成範囲:保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	県内医療機関で使用できる、子ども医療費受給資格証を交付した。交付者数 69,575人 子どもの保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成した。助成額 2,420,012千円 令和5年12月から高校生など18歳年度末まで対象年齢を拡大した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】事業の概要や医療機関の適正な受診についての理解を深めるための効果的な周知啓発の検討。 【成果】交付者数69,575人 令和5年12月から18歳年度末まで医療助成対象を広げた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	115
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	児童館等管理運営事業			
担当	こどもえがお課			
事業概要	児童館・児童センターで児童に健全な遊びを提供することによって、児童の健康増進等を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	児童館・児童センターで健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにすることにより児童の健全育成を図ることができた。 【実績】利用者数(人) ●中央児童センター 43,757人 ●味生児童館 25,876人 ●延べ利用者数 322,533人 ●南部児童センター 78,724人 ●久米児童館 26,103人 ●北条児童センター 40,540人 ●久枝児童館 38,493人 ●新玉児童館 22,462人 ●畑寺児童館 46,578人			
----------------	---	--	--	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	児童館・児童センターで健全な遊びを通して児童の健康を増進し、情操を豊かにすることにより児童の健全育成を図ることができた。 児童館・児童センターでは、こども(及び保護者)の意見を聞くため、令和5年6月から意見箱を設置し、こどもがいつでも、思ったことや感じたことを自由に無記名で投函できるようにするなど、各施設で利用者層にあわせた取組を実施している。		
----------------------------------	--	--	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	116
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-1	子育て環境の充実		
事業名	児童手当支給事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	父母その他の保護者が子育てについての第一義的責任を有するという基本的認識の下に、家庭等における生活の安定に寄与するとともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長に資することを目的として、児童を養育している者に児童手当を支給する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	中学校卒業までの児童を養育する父母その他の保護者に対し、児童の家庭等における生活の安定と健やかな成長に資するため手当を支給した。(述べ児童数:644,950人 支給額:7,085,450千円)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【成果】支給者数(延べ人数)644,950人 児童手当の支給により、子育て世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図ることができた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	117			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実					
事業名	母子保健育児支援事業、妊娠・出産支援事業						
担当	すくすく支援課						
事業概要	母子の健康の保持増進及び育児支援を図るため、妊娠期・乳幼児期の遺伝・育児・栄養などに関する健康教育や健康相談、訪問指導を実施し、また、心身のつまずきのある幼児とその保護者を対象の療育指導を行うことにより発達を促し、育児不安の軽減を図る。①パパ・ママのための教室 ②オンライン育児講座(マタニティライフの過ごし方、プレママのお口のケア) ③すくすく相談・モグモグ相談 ④離乳食講座 ⑤かんがるークラブ ⑥なかよし教室 ⑦発達相談 ⑧5歳児相談 ⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む)⑩松山市母子保健推進員養成講座 ⑪遺伝相談						
数値目標	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	R5	95 %	R6	95 %	R7	95 %

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	①パパ・ママのための教室452人、②オンライン育児講座(マタニティライフの過ごし方4人・プレママのお口のケア 1人)、③すくすく相談5,137人・モグモグ相談778人、④離乳食講座66人、⑤かんがるークラブ56人、⑥なかよし教室433人、⑦発達相談331人、⑧5歳児相談115人、⑨訪問指導(こんにちは赤ちゃん訪問含む)6,093人、⑩母子保健推進員養成講座67人、⑪遺伝相談1人
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	各事業を通じて、妊娠・出産・育児に関する正しい知識や情報を提供し、父親と母親が共に子育てに取り組めるよう支援した。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	この地域で子育てをしたいと思う親の割合	97.9 %	103%
-------------------------	---------------------	--------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	118
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実		
事業名	産後ケア事業			
担当	すくすく支援課			
事業概要	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から家事や育児の十分な援助を受けられない出産後の母子に対し、助産師等によるケアや育児指導を行い、母子とその家族が健やかに生活できるよう支援する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	利用実人数:219人、延397回
----------------	------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	産後の体調不良や育児不安があり、家族等から十分な援助を受けられない母子に対し、ケアや育児指導を行うことで育児不安の軽減につながった。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	119
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-2	妊娠・出産の支援をはじめとした母子保健の充実		
事業名	多胎妊産婦等サポート事業（育児・家事援助サービス利用補助事業）			
担当	すくすく支援課			
事業概要	育児等に対する孤立感や負担感の強いとされる多胎妊産婦等を対象とし、産後うつ病や虐待を予防するため、育児・家事援助サービスを受ける際の利用料の助成を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	交付人数:72人 利用人数:34人 利用可能事業所が9か所。
----------------	-----------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	育児等に対する孤立感や負担感の強いとされる多胎妊産婦・父親に対して、育児・家事援助サービスを活用しやすい環境を整え、負担軽減に繋げた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	120
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援					
事業名	ひとり親家庭等の就労支援						
担当	子育て支援課						
事業概要	母子家庭等自立支援教育訓練給付金や母子家庭等高等職業訓練促進給付金等を、適職に就くために必要であると認められる場合や就職の際に有利で生活の安定に役立つ資格を取得する場合に支給し、就労支援を行う。						
数値目標	自立支援教育訓練給付金講座修了者及び高等職業訓練促進給付金利用者の就職率	R5	100 %	R6	100 %	R7	100 %

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	ひとり親家庭の親が教育訓練講座を受講する際にその経費の一部を支給し、主体的な能力開発の取組を支援し、自立の促進を図った。また、就職を容易にするために必要な資格の取得を促進するため、養成機関の受講期間において給付金を支給し、生活の負担の軽減を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	・自立支援教育訓練給付金事業について、令和5年度は20人が修了し、看護師、介護職員初任者研修、介護福祉士実務者研修、医療事務講座等の資格を取得した。8人が取得した資格に関連する事業所に就職、12人が継続勤務している。 ・高等職業訓練促進給付金事業について、令和5年度は16人が修了し、看護師、准看護師等の国家資格や、Microsoft Office Specialist、Webクリエイター能力認定試験等の民間資格を取得した。修了者の雇用形態は全員正社員であり、取得した資格を活かした就労先になっている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	自立支援教育訓練給付金講座修了者及び高等職業訓練促進給付金利用者の就職率	100 %	100%
-------------------------	--------------------------------------	-------	------

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	121
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	児童扶養手当支給事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	父母の離婚などで、父又は母と生計を同じくしていない子どもが育成される家庭の生活の安定と自立の促進に寄与し、子どもの福祉の増進を図ることを目的として支給される手当。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	離婚・死亡等により父または母がいない、あるいは、父または母が重度の障害等の家庭において、児童に心身を健やかに成長させるため、父または母・養育者に手当を支給した。(4,690世帯)
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	該当世帯の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図った。
----------------------	---------------------------------

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	122
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	ひとり親家庭医療助成事業			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭の医療費を助成することにより、ひとり親家庭の生活の安定と福祉の増進を図る。 助成対象者：ひとり親家庭の母もしくは父とその子。祖母もしくは祖父と孫、または姉もしくは兄と弟妹の家庭でひとり親家庭に準ずるもの。父母のいない子。 助成範囲：保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	県内医療機関で使用できる、ひとり親家庭医療費受給者証を交付した。交付者数 13,160人 ひとり親家庭の保険診療による入院・通院について医療費の自己負担分を助成した。助成額 654,077千円 新規申請受付件数 661件(世帯)
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に捉われることなく事業を実施することで、ひとり親家庭の経済的負担を軽減し、生活の安定や福祉の増進を図った。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	123
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	ひとり親家庭等自立促進計画の策定と進捗管理			
担当	子育て支援課			
事業概要	ひとり親家庭や寡婦が様々な活動に積極的に参加でき、ともに支えあい、自ら安定した生活を営み、子どもたちが健やかに成長できるよう、各種支援策をまとめた総合的な計画である「ひとり親家庭等自立促進計画」の進捗管理を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	担当課に進捗状況を確認し、松山市社会福祉審議会児童福祉専門分科会に評価をしてもらい、評価結果を松山市ホームページで公表した。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	・ひとり親家庭を取り巻く環境の変化や、本市を取り巻く現状をふまえ、進捗管理を行っていく必要がある。 ・「第3期松山市ひとり親家庭等自立促進計画」令和4年度実施状況の評価を行ったことで、各種事業の改善点が明らかになった。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	男女の人権の尊重～互いを理解し尊重します～	通番	124(5)			
重点目標	4-3	男女間のあらゆる暴力の根絶					
実行項目	4-3-4	暴力の根絶に対する社会的認識の徹底と相談体制の充実					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業						
担当	子育て支援課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	家族に相談を聞かれたくないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和5年度の実績は、子ども総合相談193件、ひとり親相談27件、DV相談36件の合計256件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があった。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	256 件	60%
-------------------------	--------	-------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	124(5)			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-4	相談体制の確立					
事業名	SNS子ども子育て相談窓口事業【再掲】						
担当	こども相談課						
事業概要	主なコミュニケーションツールとしてSNSが浸透している若年層をはじめ、電話、来所、訪問等の既存の窓口の利用が難しい方が気軽に相談できるよう、SNSを活用した窓口を開設し相談対応を行い、児童虐待やDV被害の未然防止、早期発見、早期対応を図るとともに、ひとり親家庭などの子育て世帯等に対するきめ細かな支援につなげる。						
数値目標	相談受付件数	R5	430 件	R6	430 件	R7	430 件

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	家族に相談を聞かれないなど、電話による相談が難しい場合にも利用できるよう、LINEを活用し、児童虐待やDV被害、子育てや、妊娠・出産、ひとり親家庭の相談窓口を開設した。毎週月・木・土曜日の17時から21時まで相談対応を行い、令和5年度の実績は、子ども総合相談193件、ひとり親相談27件、DV相談36件の合計256件であった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	LINEだからこそ相談できたという意見や、この相談をきっかけに必要な支援につなげることができた例もあるなど、声を上げることが難しい方の悩みを拾う手段としての効果があつた。また、リーフレットの配布や広報誌、フリーペーパーなどで周知することで、男女問わず悩みを抱える方の相談に対応することができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	相談受付件数	256 件	60%
-------------------------	--------	-------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	125			
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-4	相談体制の確立					
事業名	子育て世代包括支援センター事業(すくすく・サポート)						
担当	すくすく支援課						
事業概要	妊娠期から乳幼児期にわたる様々な相談に対し、助言・情報提供を行うとともに、支援が必要な方には、関係機関と連携し、切れ目ない支援を提供する。						
数値目標	すくすく・サポート利用者総数	R5	14,000 人	R6	14,000 人	R7	14,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	利用者数は13,062人で前年度から増加しており、相談場所としての市民の認知度は高まっている。妊娠期から子育て期の様々な相談に保健師・栄養士等が対応し、必要な方には関係機関と連携し切れ目のない支援を提供している。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	妊娠期から子育て期の相談窓口であることをママ・パパセット交付時に全ての妊婦や家族等に周知し、切れ目のない支援を提供した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	すくすく・サポート利用者総数	13062 人	93%
-------------------------	----------------	---------	-----

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～	通番	126
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備		
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援		
事業名	総合相談事業			
担当	こども相談課			
事業概要	子どもに関する総合相談窓口である「子ども総合相談」にて、松山市の0歳から18歳までの子育て、発達、虐待、いじめ、不登校、問題行動などのさまざまな相談に対し、学校や関係機関と連携し対応する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	松山市在住の0歳から18歳までのこどもとその保護者及び妊産婦等を対象に、総合的な相談窓口として、子育て、虐待、いじめ、不登校、問題行動、予期せぬ妊娠等の様々な相談に対し、関係機関と連携しながら電話、来所、訪問等で個々の状況に応じた迅速かつ的確な対応を行った。令和5年度の相談件数は4,230件だった。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	悩みや不安を抱えているこどもや保護者、または妊産婦が自ら相談できる窓口としての周知が進み、相談件数は増加している。受け付けた相談に対して学校や医療機関等の関係機関と連携しながら丁寧に対応することで、こどもの健やかな成長に資することができた。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	4	仕事と生活の調和 ～仕事と生活の調和が図られる社会を目指します～				通番	127(106)
重点目標	4-3	安心して子どもを産み育てられる環境整備					
実行項目	4-3-3	ひとり親家庭等の生活への支援					
事業名	地域子育て支援拠点事業(直営型)【再掲】						
担当	こども相談課						
事業概要	主に乳幼児をもつ親と子どもが気軽に集う場所として「ほっとHOTひろば」を設置し、子育てへの負担感を緩和し、安心して子育てできるように、育児相談や子育てに関する情報提供のほか、講習などを行う。						
数値目標	年間利用者数	R5	2,500 人	R6	2,500 人	R7	2,500 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	主に乳幼児及びその保護者を対象に、親子の交流・集いの場を提供するとともに、子育て親子に対する相談援助を行った。また、令和5年度は育児講座「育児健康塾」を10回、グループカウンセリング「ほっとHOTタイム」を10回実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	多くの子育て親子の利用があり、令和5年度の年間利用者数は目標を上回る3,406人であった。 育児健康塾、ほっとHOTタイムなどを利用した方へのアンケートによると、 「普段なかなか相談できない専門医の話を聞くことができて良かった。」 「講師の先生の話をお聞きし、悩んでいるのは自分だけではないと思えた。」 「子育ての今後の見通しがついて良かった。」 などの意見があり、保護者の育児不安の軽減、孤立感の解消につながっていると考えられる。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	年間利用者数	3406 人	136%
-----------------------------	--------	--------	------

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～				通番	128
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援					
事業名	松山のひととまちを守る！防災士養成事業						
担当	市民防災安全課						
事業概要	公費負担により、自主防災組織、小中学校、幼保育園、福祉避難所及び災害協定締結事業所への防災士配置を進め、総合的な地域防災力の強化につなげる。また、女性の防災への参画の重要性から、女性防災士の養成に取り組む。						
数値目標	防災士の女性の割合	R5	20.5 %	R6	21.0 %	R7	21.5 %

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	愛媛大学と連携して防災士養成講座を実施し、広く防災士資格が取得できる機会を創出した。また、公費負担で自主防災組織、小中学校、幼保育園、児童クラブ、福祉避難所、災害協定締結事業所、郵便局に防災士を養成した。さらに、令和元年度から取り組んでいる公費での高校生防災士の養成も行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	広く防災士を募っているため、女性防災士の割合は徐々に高まってきている。しかし、決して高い水準とは言えない。災害時には様々な視点からの支援が必要になるため、引き続き女性防災士の養成を進めていく。防災士資格取得者に対するアンケートは実施できておらず、客観的な評価を取り入れるための、取り組みを考える必要がある。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	防災士の女性の割合	23 %	112%
-------------------------	-----------	------	------

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	129(70)			
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援					
事業名	地域等の場で活躍できる各種人材の育成(女性防火クラブ)【再掲】						
担当	地域消防推進課						
事業概要	各地区で女性防火クラブが主体となって実施する地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を通じて、女性の視点を活かし、知恵と工夫を凝らした取り組みを展開し、女性の人材育成を図る。						
数値目標	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	R5	37 地区	R6	37 地区	R7	37 地区

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度中に松山市内の39地区すべてで地域の訓練への参加や防災研修会などを実施した。そのほか、女性の視点を活かした避難所運営訓練や炊き出し訓練等も積極的に実施し、非常事態に備えている。さらに、各地区の保育園や幼稚園、児童クラブへ出向き、紙芝居などを利用して防火防災教育を行うなどの啓発活動を行っている。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女が等しく幼少期から防災教育を受けることによって、未来の防災力向上に貢献してもらうため積極的な広報活動に取り組んでいく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	地区研修会や防災かみしばい等の防火・防災に関する啓発活動を実施した地区数	39 地区	105%
-------------------------	--------------------------------------	-------	------

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	130
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-1	自主防災組織や防災士などへの支援		
事業名	自主防災組織育成事業			
担当	市民防災安全課			
事業概要	自主防災組織の育成や充実・強化及び防災士のスキルアップを図るため、防災研修や講演会、シンポジウムなどを開催するほか、必要なテーマに関する調査・研究を行う。 また、事業を通じて、男女共同参画はもとより、世代・業種・障がい等の多角的な視点を基本とする。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「家庭の備え」や「過ごしやすい避難所」等をテーマに女性防災士研修会を実施した。 防災シンポジウムを開催し、特定非営利活動法人ひろしまNPO センター 香川 恭子 様を招き、「子育て家庭の防災力が地域を救う」を演題に講演していただくとともに、「災害に備える連携」～世代を超えて広げる防災の輪～という内容で、様々な人や組織が連携するにはどうすればよいか、パネルディスカッションを行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	女性防災士研修会では、41人が参加。地域や世代、職業を超えた交流の場を創出することができた。 防災シンポジウムでは約1,000人が参加し、多様な視点から防災について考えていただけるきっかけとなった。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～				通番	131(67)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化					
実行項目	5-1-2	産官民学が連携した地域防災力の強化					
事業名	切れ目のない全世代型防災リーダー育成事業【再掲】						
担当	市民防災安全課						
事業概要	産官学民が連携し、小学校から高齢者まで切れ目なく防災教育を行い、災害に強い人づくり・まちづくりを行う。 男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を進め、誰もが住みやすいまちを目指す。						
数値目標	男女共同参画をはじめ、多様な視点での 防災教育を実施する。	R5	80 回	R6	80 回	R7	80 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	小・中・高校生で結成されているジュニア防災リーダークラブでは、発足式を始め、工事現場の見学会や防災まち歩き、防災キャンプなど、年間を通して様々な防災教育を行った。 マイ・タイムラインの普及で風水害での逃げ遅れゼロを目指す「逃げ遅れゼロプロジェクト」では、デジタル版マイ・タイムラインの運用を開始するとともに、松山市立の中学1年生約4,000人に対してWeb版マイ・タイムライン作成授業を実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	ジュニア防災リーダークラブでは、14回のイベントを実施。延べ約440人が参加し、防災の知識や意識を深めることができた。 デジタル版マイ・タイムラインについて、男女問わず、全ての市立中学1年生に授業を実施することで、逃げ遅れをゼロにするための意識を持たせるとともに、防災の知識を深めることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	男女共同参画をはじめ、多様な視点での防災教育を実施する。	94 回	118%
-----------------------------	------------------------------	------	------

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	132(71)
重点目標	5-1	男女共同参画の視点を取り入れた地域防災力の充実強化		
実行項目	5-1-2	産官民学が連携した地域防災力の強化		
事業名	防災ひとづくり地域創生事業【再掲】			
担当	市民防災安全課			
事業概要	大学生防災士の養成や「防災リーダークラブ」の活動支援を行うことで、若い世代の防災リーダー育成を図る。また、「防災」を通じて大学生と地域や地元企業をつなげることで、地域の活性化を目指す。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	愛媛大学と連携し、短期集中講義「環境防災学」を実施し、大学生の防災士を養成するとともに、防災に関する知識を向上させる。 防災リーダークラブについて、学校や地域に対する防災活動を随時支援する。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	環境防災学では125人が防災士資格に合格し、大学生防災士を養成することができた。 防災リーダークラブの防災活動は計46回実施し、学校や地域での防災力の向上に貢献した。 環境防災学の受講者に対してアンケートや意見聴取はできていないが、防災リーダークラブ員には今後の方針等、意見を交換する場を設けている。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	133
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-1	避難所運営や仮設住宅での男女共同参画		
事業名	対策本部運営事業			
担当	危機管理課			
事業概要	災害発生時に災害対策(警戒)本部の設置及び運営を円滑に実施し、被害情報の共有や被害対応の迅速化並びに気象情報等の収集、伝達を行い、市民の生命、身体および財産を保護し、被災者等の市民生活の早期安定を図るもの。対策本部運営のため、各担当職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	災害対策(警戒)本部の各班の人選について可能な限り男女を配置し、特に避難所班による避難所運営や調査班による被災した住宅調査など一定の配慮が必要となる活動について、男女共同参画の視点にたった本部運営を行った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 災害時の本部運営や避難所担当など、長期間や深夜に及ぶ勤務について性別による一定の配慮が必要である。 【成果】 本部運営訓練後のアンケートでは、男女それぞれの意見を抽出し、のちの本部運営に反映することができた。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	134(139)
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理			
担当	危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	地域防災計画に基づき、防災会議、災害対策本部等への女性参画をはじめ、避難所の運営や物資の備蓄、復刻対策などについても女性の意見を尊重することで男女共同参画の推進を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 男女共同参画に配慮した防災対策を進めているが、市民への更なる広報・周知により参加を促していく必要がある。 【成果】 備蓄物資や避難所運営で、さまざまなニーズに対応する整備が進んでいる。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	135
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	防火指導事務			
担当	地域消防推進課			
事業概要	市内39地区で防火意識の普及啓発を推進している女性防火クラブ員が、防火に関する知識や火災発生時の対応などを習得するための研修や訓練等を支援するとともに、住宅用火災警報器の設置促進や春季・秋季火災予防運動期間中の火災予防広報など、地域に根ざした活動を実施する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は48園4167人の園児と、21クラブ642人の児童へ防災教室を実施した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女が等しく幼少期から防災教育を受けることによって、未来の防災力向上に貢献してもらうため積極的な広報活動に取り組んでいく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	136
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	みんなの消防フェスタ開催事業			
担当	地域消防推進課			
事業概要	多くの市民に防火・防災について関心を高めてもらうとともに、自主防災組織や女性防火クラブをはじめとする各種団体の横の連携を深めることを目的に、「みんなの消防フェスタ」を開催し、防火・防災啓発を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は来場者が 10,000人を突破し、市民に喜ばれるイベントとなった。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	男女が等しく幼少期から防火防災イベントに参加することによって、未来の防災力向上に貢献してもらうため積極的な広報活動に取り組んでいく。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	137
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-2	防災知識の普及		
事業名	幼年少年消防クラブ育成事務			
担当	地域消防推進課			
事業概要	幼稚園や保育園の園児、また小学生に防火・防災についての知識やスキルを楽しみながら身につけられるよう、地元の女性防火クラブ員が防災かみしばい教室やかると大会などを開催し、次世代を担う子供たちの防災意識及び災害対応能力の向上を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年度は48園4167人の園児と、21クラブ642人の児童へ防災教室を実施した。また小学生対象の少年消防クラブでは「一日消防学校」を開催し、子供たちの防火防災意識や災害対応能力の向上を図った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加人数を増やし、幼少年からの防火防災意識の向上をはかるために、積極的な広報活動に取り組んでいく。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	138
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-3	災害用物資の支援		
事業名	災害用物資資機材整備事業			
担当	危機管理課			
事業概要	地震等の大規模災害発生時に被災者に対して食料や飲料水、日用品、毛布等の物資を速やかに供給するため、必要物資の備蓄配備を行うとともに、衛生面に配慮し、ウェットティッシュや手指消毒剤なども配備する。また、避難所の環境向上のため、段ボールベッドや間仕切りなどの環境改善資器材を配備し、迅速な避難行動や避難生活への移行を支援する体制強化を図る。			
数値目標	備蓄食料数はR5年度に目標達成予定であり、その他の資機材等は松山市備蓄計画に基づき計画的に備蓄を進める	R5	50 %	R6 60 % R7 70 %

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	主要な避難所となる公民館、小学校、中学校へ段ボールベッド及びパーテーションの配備について希望調査を行い、保管スペース等があり配置を希望する、27施設への配備が完了した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 今後も男女共同参画を促し、それぞれで異なるニーズを把握し、整備を行う必要がある。 【成果】 女性用品やプライバシー保護のための物資等も整備しており、避難生活の質を向上させることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	備蓄食料数はR5年度に目標達成予定であり、その他の資機材等は松山市備蓄計画に基づき計画的に備蓄を進める	50 %	100%
-------------------------	--	------	------

主要課題	5	地域防災分野での男女共同参画 ～災害時こそ互いを配慮します～	通番	139(134)
重点目標	5-2	男女共同参画の視点を取り入れた防災・減災・復興体制の確立		
実行項目	5-2-4	復興への取組での男女共同参画の視点強化		
事業名	松山市地域防災計画の進捗管理【再掲】			
担当	危機管理課			
事業概要	災害対策基本法などの防災関係法令をはじめ、国の防災基本計画、被害想定および県の地域防災計画等をもとに、本市の地域防災計画を適宜見直し、防災・減災対策の更なる推進を図る。			
数値目標	毎年検討を加えて、必要があると認められるときは修正を行う。	R5	R6	—

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	地域防災計画に基づき、防災会議、災害対策本部等への女性参画をはじめ、避難所の運営や物資の備蓄、復興対策などについても女性の意見を尊重することで男女共同参画の推進を図った。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	【課題】 男女共同参画に配慮した防災対策を進めているが、市民への更なる広報・周知により参加を促していく必要がある。 【成果】 備蓄物資や避難所運営で、さまざまなニーズに対応する整備が進んでいる。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	毎年検討を加えて、必要があると認められるときは修正を行う。		
-------------------------	-------------------------------	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	140
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	学校等との連携による男女共同参画の意識啓発			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	市内の小・中学校に対して、運営委員会の設置、基礎研修、学級・学年別懇談会の開催を依頼し、教職員及び保護者が人権教育の重要性を認識するとともに主体性を持って事業に取り組むよう意識を啓発することにより、人権感覚豊かな人材の育成に努める(校区別人権教育懇談会)			
数値目標	校区別人権教育懇談会 ①実施回数 ②参加人数	R5 340 回 65,000 人	R6 340 回 65,000 人	R7 340 回 65,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	校区別人権教育懇談会を開催し、学習活動実践例を取りまとめた。
------------	--------------------------------

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	本事業は、性別を限定することなく行っている。 小中学校の人権・同和教育参観日で開催された講演会等では、思い込みや常識について考えるためのダイバーシティや、性の多様性に関する正しい理解等をテーマとして取り上げ、男女共同参画や性別による差別・偏見に対する意識啓発を図った。
----------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	①実施回数	397 回	117%
	②参加人数	77,801 人	120%

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	141
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	教職員研修事業(SDGs推進研修)			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	職員の経験年数に応じて実施する研修において、学校教育でのSDGsの推進について講座を設ける。また、令和4年度に各校から校内で主にSDGsを推進していく教員を対象とした「SDGs推進研修」を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	経験年数に応じて実施する研修においては、SDGsの概要をはじめ、学校教育でのSDGsの推進やESDについての講座を設け、延べ219名が受講した。受講者からは、「教育の在り方が日本の未来やSDGsを達成できるかどうかに関わっていることに気付いた。子どもの変容や行動をどう促すか、考えて授業をしていきたい。」といった感想が聞かれた。また、校内で主にSDGsを推進していく教員を対象とした「SDGs推進研修」では、小中学校での実践事例を紹介するとともに、自校での取組について演習及び情報交換を行い、83名が受講した。受講者からは、「各校の発表からESDの具体的な活動を知ることができた。他の学校の先生方と話をしヒントをいただいた。」といった感想が聞かれた。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	SDGs17の目標そのものやESDについて理解を深めたり、学校での取組事例について共有することで、これからの実践について意識を高めたりすることができた。 目標5「ジェンダー平等を実現しよう」についても、ある程度の理解・周知はできているが、ジェンダー平等に特化した講座や、学校での取組事例を取り上げることはできていない。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)			
-----------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	142(61)
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	教職員研修事業(性の多様性)【再掲】			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	人権・同和教育主任研修や教職員の経験年数に応じて実施する研修で、性の多様性を正しく認識し、性的少数者に対する偏見や差別意識の解消を進めるとともに、自他の人権を認め合う教育を行うために、「松山市人権啓発施策に関する基本方針」に基づき、教職員への研修を行う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	教職員の経験年数に応じて実施する研修では、「ジェンダー平等を考える」と題し、松山市男女共同参画推進センター館長に御講義いただいた。また、動画視聴にて、学校での性差によらない対応等の内容を含む人権・同和教育についての研修を行った。人権・同和教育主任研修では、松山東雲短期大学教授を講師に迎えジェンダー教育について、また、事務職員研修では、「学校現場における性の多様性について」と題し、松山市人権啓発課指導員に御講義いただいた。生徒指導主事研修では、「生徒指導上の課題と効果的な指導について」の演習の中で、性の多様性に対応するための具体的な方法等について協議を行った。対面での研修は延べ345名、動画での研修は66名が受講した。 受講者からは、「子どもたちが実際にその問題に対面した時、考えて選択できるよう正しい知識を教えておくことが大切だと分かった。」「全ての人が当事者である、という思いが大切。」「教師が正しい知識を持って子どもに接していく必要がある。」という感想が聞かれた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	アンケートによると、「どの研修でも新しい知見を得られた」「学校の教育活動に生かせる」等、肯定的な回答の割合は98%を超えており、性に関する正しい認識や学校での対応に関する知識への理解には一定の成果がある。また、動画研修等を取り入れ、受講しやすいよう配慮できた。 今後も、学校現場のニーズを捉えながら、お互いが多様性を理解し、安心して過ごせる学校づくりを推進するための研修を企画、運営していく。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	143
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-1	学校教育での男女平等の推進		
事業名	松山の教育研究開発事業			
担当	教育研修センター事務所			
事業概要	『広がれ！ふるさと松山の心』等に掲載している先人の功績をSDGsの17の目標を視点に再構成したパンフレットを令和4年度に作成する。各学校に電子データを配信し、「ふるさと松山学」教材の一層の活用とSDGsの推進を図る。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	児童生徒が所有している1人1台端末で活用できるように、デジタルコンテンツ「SDGsと松山の先人たち」を小学校5年生以上の児童生徒に配付し、各校で活用した。この教材の活用実践事例を、教職員専用ホームページに掲載し、いつでも閲覧できるようにしている。また、「まつやま教育研修センターフェスタ2024」において、『SDGsと松山の先人たち』の活用」と題して分科会を実施し、50人が参加した。研究協議を通してデジタルコンテンツの活用方法等を考えた。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	センターフェスタ分科会の中で、「5 ジェンダー平等を実現しよう」の項目に該当する先人を取り上げた活動を考えている受講者がいたり、実施後のアンケートで、「分科会に主体的に参加できた」と肯定的に回答した受講者が約98%であったりするなど、SDGsの視点で学習活動を展開することの意識付けを図ることができた。一方、デジタルコンテンツ「SDGsと松山の先人たち」を活用した実践事例は53事例あるが、ジェンダーに特化した事例はなく、引き続き、研修内で理解・啓発を図る必要を感じている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	144(43)			
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進					
事業名	アンコンシャス・バイアスの解消のための講座【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)について学び、無意識のうちに刷り込まれた自分自身のものの見方や捉え方に気づく講座を開催する。						
数値目標	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	R5	3 回	R6	3 回	R7	3 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	アンコンシャス・バイアスについての理解を深める情報誌を1,000部発行し、市内各所に配布したほか、アンコンシャス・バイアスについての出張講座も開催した。 また、公開講座では、「男なのに育休取るの?」「女性だからそんなに頑張らなくていいよ」など、アンコンシャス・バイアスによって生まれる言葉を指す「駄言」をテーマにした講演会を行った。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	性別に関するアンコンシャス・バイアスによる悪影響は、性別や年代に関わらず全ての人に関係する身近な問題であることを情報誌で発信し、講座等で啓発することができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	アンコンシャス・バイアス講座等の開催回数	4 回	133%
-------------------------	----------------------	-----	------

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	145	
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実			
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進			
事業名	地区人権教育の推進				
担当	人権・共生社会推進課				
事業概要	人権に対する関心を全市域において高めていくためには、地域における学習会の積み重ねが重要であるため、公民館本館や分館などを単位とした人権学習会を実施し、人権を大切にし互いを認め合えるまちづくりを目指す。				
数値目標	公民館・分館・集会所等 での人権学習会	①実施回数 ②参加人数	R5 250 回 19,000 人	R6 250 回 19,000 人	R7 250 回 19,000 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	地区人権教育推進協議会や公民館事業推進委員会、ふれあいセンターと連携・協力し、公民館本館や分館・集会所などを単位とした小集団学習会を実施した。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	本事業は、性別や年齢等を限定することなく行っている。 公民館本館や分館等で開催された人権学習会等では、アンコンシャス・バイアスや、LGBTQの方々の人権等をテーマとして取り上げ、男女共同参画や性別による差別・偏見に対する意識啓発を図った。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	公民館・分館・集会所等での人 権学習会	①実施回数 ②参加人数	232 回 25,156 人	93% 132%
-----------------------------	------------------------	----------------	-------------------	-------------

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	146
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	松山市人権教育研究大会の開催（人権教育研究会は、現在「松山市人権教育研究大会」という名称です）			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	松山市人権教育推進協議会における関係機関・団体等の関係者ほか市民が一堂に会し、研究協議や交流を深める中で、人権に関わる社会問題の解決を市民一人ひとりの課題とし、問題解決に向けて果たすべき役割を確認し合うとともに、実践事例を通して、人権教育・啓発活動の一層の飛躍を図るために、研究会を開催する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	以下のとおり、全体会（講演会）と5つの専門委員会に分かれての分科会を実施した。 【全体会】 私からはじめの私たちの多様性社会～「ちがいが」と「まちがいが」の境界線の上で～ 【分科会】 ①中学校における人権・同和教育の推進について ②人権感覚が共に育ち合う環境～少人数保育の良さを生かして～、こどもの権利とヤングケアラー～こども時間は、あなたの宝物。～ ③家庭内の見えない暴力に気づきつなぐ～傷つく人が1人でも少なくなるように～ ④認知症になっても安心して暮らせる地域づくり、特殊詐欺被害の現状と対策 ⑤子どもを取り巻くネットの危険～それって人権侵害じゃない？～
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度（%）	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」（松山市）を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声（意見）を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく行っている。また、専門委員会の委員も、性別や年齢等による選定は行っていない。 女性人権委員会による分科会③では、DV・児童虐待や性暴力をテーマに取り上げ、女性の人権侵害への解決に向けて果たすべきことについて学ぶ研究協議を実施した。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度（%）			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	147
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-2	家庭・地域での男女平等の教育・学習の推進		
事業名	人権啓発フェスティバルの開催			
担当	人権・共生社会推進課			
事業概要	人権問題に対する正しい知識や情報を提供することにより、市民一人ひとりの人権意識を高め、相互に人権を守り合うことの大切さを認識し、心豊かな人権尊重社会を築くことを目的として、人権啓発フェスティバルを開催する。当日は人権に関する講演会や人権問題の解決に向けて活動する団体による展示などを複合的に実施する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	以下のとおり、事業を実施した。 【講演会等】 映画監督による講演会「いのちを食べて いのちは生きる」 映画「ある精肉店のはなし」ダイジェスト版の上映 【展示】 令和4年度人権啓発標語・ポスター・絵手紙入賞作品 各種人権啓発に関するパネル展示
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加者の募集にあたっては、性別や年齢等を限定することなく、家庭・地域等に幅広く呼びかけている。また、アンケートの性別欄の必要性を見直し、性別欄を削除している。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	148			
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画					
事業名	キャリア教育の支援						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	親や小中学生を対象に、理系分野に親しんでもらう講座を開催する。						
数値目標	参加人数	R5	36 人	R6	36 人	R7	36 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	女子学生・生徒の理工系分野への進学状況は他の分野と比較して低い状況にあり、女子の理工系分野への関心・理解を高めるために、小学校低学年の女子児童とその保護者を対象に、理系女子大学生が講師を務め、サイエンスに触れる講座「親子で学ぼう！女の子の 未来をひらくサイエンス教室」(8月26日)を実施した(40人)。
----------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	参加希望者が多く抽選となったため、今後は参加定員を増やせるよう工夫していく。 学生が対応できる人数で定員を設定したため、定員を20組としたが、申込件数は29組であり、関心の高さを知ることができた。
----------------------------------	---

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	参加人数	40 人	111%
-----------------------------	------	------	------

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～				通番	149(103)
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実					
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画					
事業名	休日子どもカレッジ推進事業【再掲】						
担当	こどもえがお課						
事業概要	夏休み等の長期休暇中に大学の空きスペースなどを活用し、親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施する。						
数値目標	延べ利用者数	R5	2,800 人	R6	2,800 人	R7	2,800 人

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施することができた。 【実績】 ●松山大学 (実施主体 NPO法人ワークライフコラボ) 開設日数 52日 延べ利用者数:1,518人 ●ハーモニープラザ (実施主体 NPO法人いよこコロザシ大学) 開設日数 50日 延べ利用者数:1,504人
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	夏休み等の長期休暇中に親の不在や家庭の事情により不足する子どもの体験(学び・遊び)を補完する事業を実施し、目標を達成することができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	延べ利用者数	3022 人	108%
-------------------------	--------	--------	------

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	150
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	学校・家庭・地域連携協力推進事業(放課後子ども教室運営事業)			
担当	地域学習振興課			
事業概要	放課後や週末などに、小学校の余裕教室等を活用して、子どもたちの学習や体験、交流のための安全・安心な活動拠点(居場所)をつくる。地域全体で子どもを育む体制づくりの一環として取り組むことで、地域の教育力の向上と子どもが安心して暮らせる環境づくりを推進する。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	各地域で組織された実行委員会が、市内29箇所放課後子ども教室を運営し、宿題の見守りやプリント学習、スポーツ、書道などの文化体験、昔の遊びを通じた高齢者との交流などを実施した。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 2点	50%
----------------	--------	-----

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	×
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	×

男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	地域の方が参画している各地域の実行委員会が、主体となって、放課後子ども教室を運営し、子どもたちに学びや体験の場を提供できた。
----------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～	通番	151
重点目標	6-1	男女平等を推進する教育・学習の充実		
実行項目	6-1-3	子どもにとっての男女共同参画		
事業名	子どもから広がるいじめ0ミーティング			
担当	学校教育課			
事業概要	小中学生による「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を実施し、各学校の児童生徒の代表者や保護者、教員等の参加により多様な意見を交わす機会を拡充するとともに、児童生徒のいじめに対する認識を深め、すすんでいじめをなくそうとする態度と実践力を養う。			
数値目標		R5	R6	R7

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	令和5年12月27日に「子どもから広がるいじめ0ミーティング」を開催したり、毎月10日「まつやまいじめ0の日」には、各学校において、いじめをなくすための取組を実施したりした。 いじめ0ミーティングでは、「市内の小中学校で共通して取り組む『まつやま・いじめ0の日』の活動」について協議し、3学期からの「まつやま・いじめ0の日」に、各学校で実施する活動が決定した。各学校の実践の成果を令和6年度の本ミーティングで共有する予定である。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	4点中 4点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	対象外
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	「子どもから広がるいじめ0ミーティング」では、本市の小中学校の実態に応じたテーマを検討し、さらに協議が充実したものになるようにしたい。また、「まつやま・いじめ0の日」取組優秀校の発表、最優秀校の選出やグループ協議を通して、市内小中学校のいじめをなくそうという機運を高めることができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)			
-------------------------	--	--	--

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～				通番	152
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-1	生涯学習の推進					
事業名	元気活力支援事業						
担当	地域学習振興課						
事業概要	地域住民のニーズに即した講座や地域課題解決のための活動などを行い、地域に密着した円滑な公民館運営を行うことで、元気で活力に満ちた人づくり・地域づくりを目指す。						
数値目標	講座・活動開催数	R5	2,000 回	R6	2,000 回	R7	2,000 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の 取組内容	高齢者、成人、青少年等対象者別学習を開催し、地域住民に幅広く生涯学習の機会を提供することができた。また、スマホ教室や民間企業が提供する健康講座等を取り入れるなど、時代のニーズを捉えた学習機会を提供することができた。公民館を拠点に地域性を生かした特色のある学習会や講座を実施することで、地域に誇りと愛着を持つ人を育み、魅力ある地域づくりに貢献することができた。
----------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○

男女共同参画 への配慮度 に対する 課題・成果	企画段階から、誰にとっても参加しやすい事業となるよう地域住民の声を活かしていく必要があるが、各公民館の事業を検証する公民館運営審議会委員からもその点に関しては特段の意見も無く、男女共同参画に充分配慮することができていると考えている。
----------------------------------	--

<評価2>

令和5年度の数値目標に 対する実績と達成度(%)	講座・活動開催数	1976 回	99%
-----------------------------	----------	--------	-----

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～					通番	153
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実						
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワメント)のための機会の充実						
事業名	男女共同参画に関する出張講座の開催							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	市民対象に男女共同参画推進の意識啓発を図るため、市民グループや企業、学校等に対し、講師を派遣する出張講座を開催する。							
数値目標	派遣回数	R5	20 回	R6	22 回	R7	25 回	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	実施した19団体の内訳は、市民一般(市民団体・PTA保護者等)8件、事業所6件、学校(児童・生徒・大学生)5件。内容は、「男女共同参画について考える」「無意識の偏見(アンコンシャス・バイアス)への気づきが働きやすい職場をつくる」「家庭内の暴力(DV)に気づきつなぐ」「地域防災×ジェンダー平等」「同性愛・性別違和 LGBTQ+について」「親子ふれあい体験」「心がほぐれるストレッチ」「お片付けはじめの一歩セミナー」など多岐にわたる。
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	引き続き、内容・開催形式ともに市民の多様なニーズに応じることができるよう、講師の開拓を行い、申込団体の希望に沿った講座を実施していく。 申込団体の希望に応じ、オーダーメイドで講座内容を組み立てることで、参加者の満足度は高く、次年度も利用したいとする団体が多かった。 参加者は幼児から高齢者まで多岐にわたり、様々な団体の要望に応えることができている。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	派遣回数	19 回	95%
-------------------------	------	------	-----

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～					通番	154(72)
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実						
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワメント)のための機会の充実						
事業名	男女共同参画の視点を持つための学習機会の提供【再掲】							
担当	男女共同参画推進センター							
事業概要	子育て中の母親、男性、親子、高齢者等、対象を明確にし、対象のニーズに合わせた男女共同参画の推進に資する講座を開催する。							
数値目標	参加人数	R5	240 人	R6	240 人	R7	240 人	

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	「わたし流生き方セミナー」(4月):60名 「COMSメンズ・キッチン」(全3回・7月～11月):延べ参加人数47名 「親子で学ぼう！女の子の未来をひらくサイエンス教室」(8月):40名(親子20組) 「ママのHappyが子どものHappy！」(全3回・9～10月):延べ参加人数61名 「暮らしのスキルアップ講座」(全2回・11～12月):延べ参加人数119名
------------	---

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参加人数の増加とともに、性別・年代を問わず多様な層に参加いただくために、チラシや広報紙、SNS等を活用し、より一層広報活動に取り組んでいく。 ジェンダー平等の考え方を広げるために、市民の興味関心をそそる内容で講座を企画し、多様な切り口で男女共同参画について考える機会を提供できた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	参加人数	327 人	136%
-------------------------	------	-------	------

主要課題	6	教育分野での男女共同参画 ～豊かな人間性を育む教育を目指します～				通番	155(88,100)
重点目標	6-2	多様な選択を可能にする教育・学習の充実					
実行項目	6-2-2	女性の能力開発(エンパワメント)のための機会の充実					
事業名	若者のライフデザイン支援事業【再掲】						
担当	男女共同参画推進センター						
事業概要	若いうちに、固定的性別役割分担意識を払拭し、晩婚・晩産等の実情を知った上で、自分が思い描く進路選択を含めた人生設計を構築する支援を行う。						
数値目標	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	R5	1 回	R6	1 回	R7	1 回

【令和5年度実績報告】

令和5年度の取組内容	次世代を担う若者が、就職・結婚・子育てなど、自分が思い描く人生設計(ライフデザイン)を考えるきっかけを提供するため、主に大学生に向けた「ライフデザインをテーマとしたセミナー」を市内の大学で開催した。 東京大学経済学研究科教授の山口慎太郎氏を講師として招聘し、「家庭内のジェンダー平等と日本経済」と題して基調講演を開催し、会場となった松山大学の学生のほか、オンラインでは愛媛大学、聖カタリナ大学・聖カタリナ短期大学部、松山東雲女子大学・松山東雲短期大学の学生も含め61名が受講した。 また、女性の活躍促進や男性の育児休業取得等に積極的に取り組んでいる事業所を松山市と松山市男女共同参画推進財団が認証する「まどんな応援事業所」の若手職員が登壇する交流会を実施し、松山大学の学生(17名)が参加した。
------------	--

<評価1>

男女共同参画への配慮度(%)	5点中 5点	100%
----------------	--------	------

チェック欄

実施前	①	松山市男女共同参画事業実施計画を確認し、担当の事業がどの主要課題・重点目標に関連するものか理解した	○
	②	事業は、性別や年齢等に捉われず多様な意見を参考にして企画し、合理的な理由なく制限を設けず、誰にとっても参加しやすいよう配慮した	○
	③	広報物等は「男女共同参画の視点からの公的広報の手引き」(松山市)を確認し作成した	○
実施後	④	男女共同参画に配慮できたかを含め、事業結果を検証し内部で共有したり、HPなどの広報媒体で外部に公表したりするなどした	○
	⑤	検証にあたり参加者・利用者等からアンケートを取る、声(意見)を聞き取る、審議会の委員や有識者等から意見を徴収するなど、客観的な評価を取り入れた	○
男女共同参画への配慮度に対する課題・成果	参考になったと答えた受講者の割合は、基調講演では82.5%、交流会では87.5%であり、特に交流会では「生の意見を聞けたことが、貴重な経験だった」という感想もあるなど、交流会の充実が重要であると考えられる。 結婚、就職、子育て等のライフプランニングやキャリア形成のための周知啓発等を通じて、若い世代が知識を習得し、自ら人生設計(ライフデザイン)を構築することのできる機会を提供することができた。		

<評価2>

令和5年度の数値目標に対する実績と達成度(%)	講演会等を通じた若年層への啓発活動の回数	1 回	100%
-------------------------	----------------------	-----	------